

バーコード作成PRO2

取り扱い説明書

ユーザー登録はこちら
<http://www.de-net.com/pc>

DE-141

製品ご利用前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。

目次

動作環境・その他（免責事項や注意事項など）	02
インストール・アンインストール方法	03～04
起動方法	05

画面・各部の説明

作業選択画面	06
バーコード作成画面	07～13
バーコード印刷画面	14～32
用紙設定画面（一覧表示）	32
用紙設定画面（サイズ入力）	33
印刷プレビュー画面	33
C S V メーカー	34
シリアルNo作成	35

バーコードを作成する

バーコードを作成する（EAN-13）	36～38
バーコードを作成する（郵便カスタマーコード）	39～42
バーコード入りの商品ラベルを作成・印刷する（ITF）	42～50
C S V ファイルを使用してラベルを作成・印刷する（携帯QRコード）	50～61

その他の操作・機能

作成（保存）したラベルファイルを開く	62
用紙サイズ入力	63～64
C S V ファイルの作成方法	65～66
シリアルナンバーの作成方法（EAN-13コード用）	67～69
Q&A	70～72
memo	73
ユーザーサポート	74

動作環境

対応 PC	メーカーサポートを受けられる Windows パソコン
OS	Windows 98/Me/2000/XP (Home/Pro)/Vista ※日本語 OS 専用ソフトです。OS が正常に動作している環境でお使いください。最新のサービスパック及びアップデートがされている環境でお使い下さい。ServerOS には対応しておりません。Vista、XP、2000 をお使いの場合、管理者権限を持ったユーザーでお使いください。マイクロソフトのサポート期間が終了している OS での動作は保証いたしません。
CPU	Pentium II 以上 (Windows Vista の場合は 800MHz 以上)
メモリ	128MB 以上 (256MB 以上推奨)/XP は 512MB 以上推奨/Vista は 512MB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 以上の解像度で色深度 16bit 以上表示可能なもの
CD-ROM	倍速以上
ハードディスク	100MB 以上の空き容量 (インストール時) ※これ以外にデータの保存の為の容量が必要となります。
プリンタ	A4/ ハガキサイズの用紙に印刷可能なレーザーもしくはインクジェットプリンタ
その他	インターネット環境推奨 プリンタドライバ必須

ご注意

ご注意

※QRコードのブックマーク登録は、NTTドコモの携帯電話用のみの対応です。

※NTTドコモ、SoftBank、au各社それぞれの専用形式のQRコードを作成して印刷できますが、全ての携帯電話会社共通のQRコードを作成することはできません。

※JPEG及びBMPファイルは、一般的なWindows標準のファイルを基準としています。特殊なファイル(CMYKカラーモードの物や、Web表示に特化したファイル等)は、本ソフト上では正常に読み込めない場合があります。予めご了承ください。

※文字の書体はお使いのパソコンにインストールされているフォントの中から選んで使用することができます。本ソフトにはフォントは収録されておりません。

印刷時のご注意

※WindowsOS、プリンタドライバ等は更新した状態でお使いください。また、パソコンやプリンタ自体のトラブルにつきましては、各メーカー様へお尋ね下さい。

※パソコンとプリンタ等周辺機器の環境、設定等によっては、正常に印刷を行う事が出来ない場合もあります。(複合機や業務用等の特殊な構造をしたプリンタなどで発生しやすい現象となっております)

※一般的なA4サイズ、ハガキサイズの用紙に対応しております。特殊なサイズの用紙には対応できない場合があります。

※1枚の用紙には全て同じデザインが印刷されます。1面ずつ異なるデザインは印刷できません。

その他ご注意

※複数台のパソコンで使用する場合には台数分のソフトが必要です。 ※その他ご不明な点などはパッケージ裏面のユーザーサポートまでお問い合わせください。ユーザーサポートの通信料・通話料はお客様の負担となります(サポート料は無料です)。本ソフトの動作以外のご質問や各種専門知識などのお問い合わせには、お答えできない場合があります。また、お問い合わせ内容によっては返答までにお時間を頂くこともあります。予めご了承ください。

開封後の商品について

※製造上の原因による製品不良の場合は、新しい製品と交換させていただきます。また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので、予めご了承ください。

※Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

記載されている各会社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。

※本ソフトを運用された結果、お客様の期待した効果が得られなかった場合及び、本ソフトの使用により発生した損害・影響につきましては弊社または版社は一切の責任を負わないものとします。

※本ソフトを著作権者の許可無く賃貸業などの営利目的で使用すること、並びに改造リバースエンジニアリングすることを禁止します。

※複数台で使用する場合には台数分のソフトが必要です。

※製品の仕様、パッケージ、画面内容等は予告無く変更することがあります。

※製造上の原因による製品不良の場合は、新しい製品と交換させていただきます。

また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

インストール・アンインストール方法

インストール方法

お使いのコンピュータに『バーコード作成Pro2』をインストールします。



インストールする前に・・・

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

○ハードディスクの空き容量

ハードディスクの空き容量が100MB以上（左記以外に作成するデータ用の空き容量も必要）が必要です。

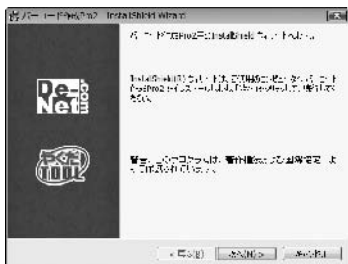
○Windows 2000/XP/Vistaのいずれかのコンピュータにインストールする場合

インストールするコンピュータの管理者権限を持っている方がインストールを行ってください。

○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウィルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。

※WindowsOSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。



手順1

CD-ROMドライブに本パッケージのCD-ROMを入れます。

CD-ROMが認識されると、左のような画面が自動で表示されますので、内容を確認して **次へ** をクリックします。



インストールが自動で始まらない場合

次の手順でインストールを始めてください。

- ① コンピュータをダブルクリックします。
- ② CDまたはDVDドライブをダブルクリックします。
- ③ [setup]をダブルクリックします。



setup
Setup Launcher
株式会社デネット

[setup]をダブル
クリックします。



手順2

インストール先を確認します。

インストール先を変更することができます。

変更しない場合は **次へ** をクリックしてください。インストール先を変更する場合は **変更** をクリックして、インストール先を選択してから **次へ** をクリックしてください。通常はインストール先を変更しなくても問題はありません。

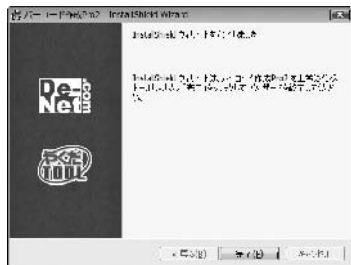


手順3

インストールの設定内容を確認します。

インストール先等の情報が表示されます。確認を行い、インストールを行う場合は **インストール** をクリックしてください。

インストール・アンインストール方法



手順4 インストール完了です。

インストールが正常に終了すると左のような画面が表示されます。

完了 ボタンをクリックしてください。

アンインストール方法

お使いのコンピュータから『バーコード作成Pro2』をアンインストール（削除）します。

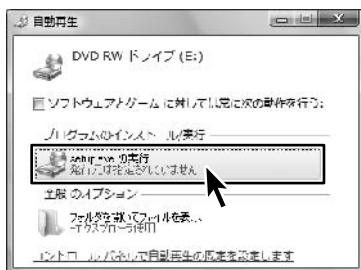
本ソフトを完全に終了して  ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で一覧表示されるプログラムの中から「バーコード作成Pro2」を選択して「アンインストール」をクリックすると確認メッセージがでますので、**はい** をクリックするとアンインストールが実行されます。

※Windows OSがXPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」から、
Vista・XP以外のOS（Windows 98/Me/2000）の場合、「スタート」→「設定」→「アプリケーションの追加と削除」からアンインストールを行ってください。



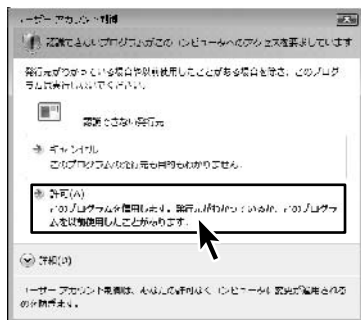
インストール中、またはアンインストール中に左のような画面が表示された場合

次の手順で作業を続けてください。



【自動再生】画面が表示された場合

[setup.exeの実行]をクリックしてください。



【ユーザーアカウント制御】画面が表示された場合

[許可]をクリックしてください。

起動方法



スタートメニューからの起動



ボタン（WindowsXPの場合は  スタート ボタン）をクリックして

「すべてのプログラム」→「De-net」→「バーコード作成Pro2」とたどって「バーコード作成Pro2」をクリックしますと本ソフトが起動します。

※WindowsXPより以前のWindowsをお使いの場合「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されています。

デスクトップショートカットからの起動



バーコード作
成Pro2

←バーコード作成Pro2 ショートカット

正常にインストールが完了しますと、デスクトップに上の様なショートカットアイコンが出来ます。ダブルクリックをすると、本ソフトが起動します。



CSVメーカー

←CSVメーカー ショートカット

CSVファイルを作成することができます。（詳細は34ページをご覧ください）

メイン画面

本ソフトを起動（方法は5ページを参照）すると、下のような画面が表示されます。



バーコード作成

バーコード作成画面を表示します。
バーコードを作成、画像で保存する時に使用します。



CSV作成

CSVメーカーを起動します。
差込印刷で使用するCSVファイルを作成することができます。



バーコード印刷

バーコード印刷画面を表示します。
バーコードを作成して、ラベル等に印刷することができます。



シリアルナンバー作成

シリアルNo作成を起動します。
シリアルナンバーを作成することができます。



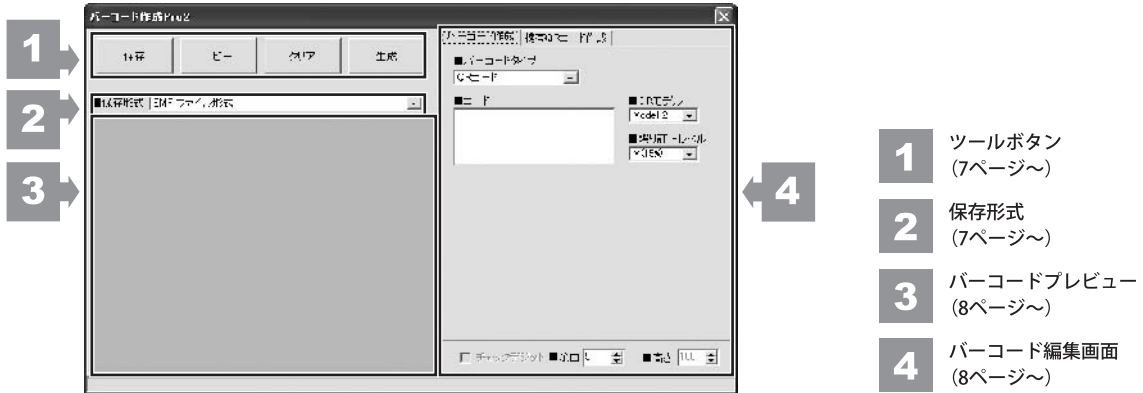
終了

バーコード作成Pro2を終了します。

バーコード作成画面



ボタンをクリックすると、バーコード作成画面が表示されます。



1 ツールボタン

保存
作成したバーコードを保存します。

コピー
作成したバーコードをクリップボードにコピーします。

クリア
バーコードプレビューに表示されたバーコードをクリアします。

生成
バーコード編集画面で設定した内容をもとにバーコードが生成されます。



クリップボードとは？

コピーや切り取り操作を行なったデータを一時的に保存する一時保管所です。操作画面上で対象となる文字列や画像を指定してコピーや切り取りなどを行なうと、対象となったデータはここに保存されます。貼り付け操作をすると、ここに保存されているデータが画面上の指示した位置に貼り付けられます。一度クリップボードに登録されたデータは他のデータが入ってくるまで保存されているので、同じデータを別の場所に何度も貼り付けることが可能です。

2 保存形式



生成（作成）したバーコードの保存形式を選択します。

3 バーコードプレビュー

生成したバーコードが表示されます。

4 バーコード編集画面

バーコード作成 | 携帯QRコード作成 |

■バーコードタイプ
QRコード

■コード
[]

■QRモデル
Model 2

■誤り訂正レベル
M(15%)

☐ チェックデジット ■余白 5 ■高さ 100

バーコード作成タブ

バーコードタイプ

▼をクリックして、作成するバーコードのタイプを選択します。

●QRコード

■コード
[]

■QRモデル
Model 2

■誤り訂正レベル
M(15%)

コード

バーコードの内容を入力します。

QRモデル

▼をクリックして、QRコードのモデルを選択します。

誤り訂正レベル

▼をクリックして、誤り訂正レベルを選択します。

●EAN-13(JAN-13)

■コード
[]

■EAN-13はチェックデジットが自動的に追加されるため7桁入力して下さい。

コード

バーコードの内容を入力します。

●EAN-8(JAN-8)

■コード
[]

■EAN-8はチェックデジットが自動的に追加されるため7桁入力して下さい。

コード

バーコードの内容を入力します。

●UPC-A

■コード
[]

コード

バーコードの内容を入力します。

●UPC-E

■コード
[]

コード

バーコードの内容を入力します。

画面・各部の説明

バーコード作成 | 携帯QRコード作成 |

■バーコードタイプ
QRコード

■コード

■QRモデル
Model 2

■誤り訂正レベル
M(15%)

☐ チェックデジット ■余白 5 ■高さ 100

バーコード作成タブ

●CODABAR

■コード

■スタートキャラクタ ■ストップキャラクタ
A A

コード

バーコードの内容を入力します。

スタートキャラクタ

▼をクリックして、スタートキャラクタを選択します。

ストップキャラクタ

▼をクリックして、ストップキャラクタを選択します。

●ITF

☐ ベアラバー

■コード

高さ 100

ベアラバー

チェックを入れると、ベアラバー（ITFバーコードを囲む黒枠線）を印刷します。

コード

バーコードの内容を入力します。

●STF

■コード

コード

バーコードの内容を入力します。

●CODE39

■コード

コード

バーコードの内容を入力します。

●CODE128

■コードセット
A

■コード

高さ 100

コードセット

▼をクリックして、コードセットを選択します。

コード

バーコードの内容を入力します。

バーコード作成 | 携帯QRコード作成 |

■バーコードタイプ
 1Dバーコード

■コード

■QRモデル
 Model 2

■誤り訂正レベル
 M(15%)

☐ チェックデジット ■余白 5 ■高さ 100

バーコード作成タブ

●EAN-128

■コードセット
 A

■コード

コードセット

▼をクリックして、コードセットを選択します。

コード

バーコードの内容を入力します。

●MaxiCode

■文字列

■MaxiCodeモード
 Mods2

文字列

バーコードの内容を入力します。

MaxiCodeモード

▼をクリックして、MaxiCodeモードを選択します。

●PDF417

■文字列

■モデル
 Standard

文字列

バーコードの内容を入力します。

モデル

▼をクリックして、モデルを選択します。

●Data Matrix

■文字列

■Data Matrixモデル
 Squares

文字列

バーコードの内容を入力します。

Data Matrixモデル

▼をクリックして、Data Matrixモデルを選択します。

画面・各部の説明

Barcode creation screen (Barcode tab). The interface includes a tab bar at the top with 'Barcode creation' and 'Mobile QR code creation'. Below the tabs, there are several input fields and controls: a 'Barcode type' dropdown menu set to 'QR code', a 'Code' text input field, a 'QR model' dropdown menu set to 'Model 2', and a 'Correction level' dropdown menu set to 'M(15%)'. At the bottom, there are checkboxes for 'Check digit' and 'White space' (set to 5), and a 'Height' dropdown menu set to 100.

バーコード作成タブ

●郵便カスタマーコード

Input fields for 'Postal customer code'. It includes a 'Postal number' text input field, a 'Customer code size' dropdown menu set to 10, and a 'Residence' text input field.

郵便番号

郵便番号を入力します。

カスタマーコードサイズ

▲▼をクリックして、カスタマーコードサイズを入力します。

住所

住所を入力します。

●ISBN (13桁)

Input field for 'ISBN (13桁)'. Below the field, there is a note: '※ISBN(13桁)はチェックデジットが自動的に追加されるため12桁入力して下さい。' (Note: ISBN(13桁) automatically adds a check digit, so please enter 12 digits.)

コード

バーコードの内容を入力します。

チェックデジット

チェックを入れると、チェックデジットが生成されます。

余白 (バーコード作成、携帯QRコード作成共通)

▲▼をクリックして、余白のサイズを選択します。

高さ (バーコード作成、携帯QRコード作成共通)

▲▼をクリックして、バーコードの高さを選択します。

Mobile QR code creation screen. The interface includes a tab bar at the top with 'Barcode creation' and 'Mobile QR code creation'. Below the tabs, there are several input fields and controls: a 'Carrier selection' section with radio buttons for 'docomo', 'SoftBank', and 'au' (selected), a 'Creation type' section with tabs for 'Phone book registration', 'Flickmark registration', 'Email sending', and 'Text list' (selected), and a 'Name' section with input fields for 'Name', 'Furigana', 'TEL 1', 'TEL-AV', 'Email address', 'Nickname', 'Birth date (YYYYMMDD format)', 'Memo', 'Residence', and 'URL'. At the bottom, there are checkboxes for 'Check digit' and 'White space' (set to 5), and a 'Height' dropdown menu set to 100.

携帯QRコード作成タブ

キャリア選択

携帯QRコードを作成するキャリアを選択します。

作成タイプ

携帯QRコードの作成タイプを選択します。

docomo

●電話帳登録

Input fields for 'Phone book registration' under the 'docomo' carrier. It includes input fields for 'Name', 'Furigana', 'TEL 1', 'TEL-AV', 'Email address', 'Nickname', 'Birth date (YYYYMMDD format)', 'Memo', 'Residence', and 'URL'.

名前

電話帳登録する名前を入力します。

フリガナ

電話帳登録するフリガナを入力します。

TEL 1

電話帳登録する電話番号を入力します。

TEL-AV

電話帳登録するテレビ電話番号を入力します。

メールアドレス

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

ニックネーム

電話帳登録するニックネームを入力します。

誕生日

電話帳登録する誕生日を入力します。

メモ

電話帳登録するメモを入力します。

住所

電話帳登録する住所を入力します。

URL

電話帳登録するURLを入力します。

携帯QRコード作成タブ
[docomo ブックマーク登録]

docomo

●ブックマーク登録

サイト名

ブックマーク登録するサイト名を入力します。

URL

ブックマーク登録するURLを入力します。

docomo

●メール送信

宛先

メールを送信する宛先を入力します。

件名

送信するメールの件名を入力します。

本文

送信するメールの本文を入力します。

docomo

●文字列

本文

本文を入力します。

携帯QRコード作成タブ
[docomo メール送信]

携帯QRコード作成タブ
[docomo 文字列]

SoftBank

●電話帳登録

名前

電話帳登録する名前を入力します。

フリガナ

電話帳登録するフリガナを入力します。

TEL 1

電話帳登録する電話番号を入力します。

TEL 2

電話帳登録する電話番号を入力します。

TEL 3

電話帳登録する電話番号を入力します。

メールアドレス

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メールアドレス2

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メールアドレス3

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メモ

電話帳登録するメモを入力します。

携帯QRコード作成タブ
[SoftBank 電話帳登録]

SoftBank

●メール送信

宛先

メールを送信する宛先を入力します。

件名

送信するメールの件名を入力します。

本文

送信するメールの本文を入力します。

携帯QRコード作成タブ
[SoftBank メール送信]

携帯QRコード作成タブ
[SoftBank 文字列]

携帯QRコード作成タブ
[au 電話帳登録]

携帯QRコード作成タブ
[au メール送信]

携帯QRコード作成タブ
[au 文字列]

SoftBank

●文字列

本文

本文を入力します。

au

●電話帳登録

名前

電話帳登録する名前を入力します。

フリガナ

電話帳登録するフリガナを入力します。

TEL 1

電話帳登録する電話番号を入力します。

TEL 2

電話帳登録する電話番号を入力します。

TEL 3

電話帳登録する電話番号を入力します。

メールアドレス

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メールアドレス2

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メールアドレス3

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メモ

電話帳登録するメモを入力します。

au

●メール送信

宛先

メールを送信する宛先を入力します。

件名

送信するメールの件名を入力します。

本文

送信するメールの本文を入力します。

au

●文字列

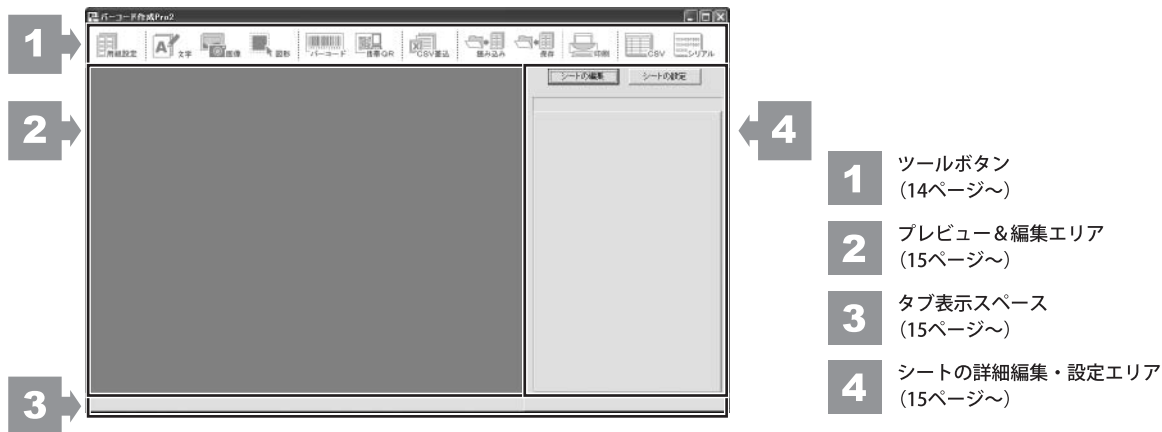
本文

本文を入力します。

バーコード印刷画面



ボタンをクリックすると、バーコード印刷画面が表示されます。



1 ツールボタン



用紙設定
用紙の設定を行います。



文字
ラベルデザインに文字シートを追加します。
(詳細は15ページをご覧ください)



画像
ラベルデザインに画像シートを追加します。
(詳細は16ページをご覧ください)



図形
ラベルデザインに図形シートを追加します。
(詳細は17ページをご覧ください)



バーコード
ラベルデザインにバーコードシートを追加します。
(詳細は18ページをご覧ください)



携帯QR
ラベルデザインに携帯QRシートを追加します。
(詳細は22ページをご覧ください)



CSV差込
ラベルデザインに差込シートを追加します。
(詳細は24ページをご覧ください)



読み込み
本ソフトで作成、保存したラベルのファイルを開きます。



保存
現在作成しているラベルデザインを保存します。



印刷
作成（保存）したラベルデザインを印刷します。



CSV
CSVファイルを作成できるCSVメーカーを起動します。



シリアル
シリアルナンバーを作成できるシリアルNo作成を起動します。

2 プレビュー&編集エリア

ラベル作成時、ここにプレビュー（印刷イメージ）が表示されます。
ここから、直接シートの位置の調整やサイズ調整などの編集作業も行います。

3 タブ表示スペース

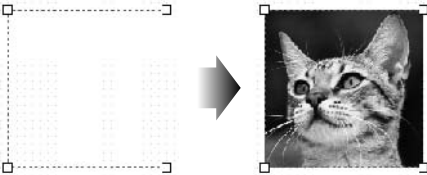
シートを追加した際に表示されるタブがこのスペースに表示されます。
タブの入れ替えや名前の変更等も行えます。

4 シートの詳細 編集・設定エリア

文字、画像、図形、バーコード、携帯QR、差込の各シートの詳細の編集と設定を行います。



シートとは？



文字、画像、図形、バーコード、携帯QR、差込の各ボタンをクリックするとプレビュー&編集エリアに左記のような点線の枠が表示されます。
この点線の枠を「シート」と呼びます。
文字、画像、図形、バーコード、携帯QR、差込をラベルに挿入する時はこの点線の枠の中に各データが入力され、サイズや位置、階層を変更することができます。
ラベルはこのシートの集まりで形成されています。

文字シート



文字

ボタンをクリックすると、文字シートを配置することができます。
文字シートはラベルに文字を入力したい時に使用します。

入力した文字には効果として、「フォント（書体）の変更」、「文字の大きさの調整」、「文字の色の変更」、「通常・太字の変更」、「通常・斜体の変更」、「下線の有無の変更」、「横・縦書きの変更」ができます。

文字

シート名

文字シート

あいうえお

文字入力欄

フォントの設定

フォント名 MSゴシック

フォントサイズ 10

フォント色 変更

太字 B

斜体 I

下線 U

縦書き

シート名

シート名が表示されます。

文字入力欄

ラベルに入りたい文字を入力します。改行もできますので、ラベルのサイズに合わせて文字の長さを調整してください。

フォントの設定

フォント名

ラベルに入力する文字のフォントを▼をクリックして表示されるフォント名一覧から選択します。フォントの種類は、お使いのパソコンにインストールされているものをお使いいただけます。

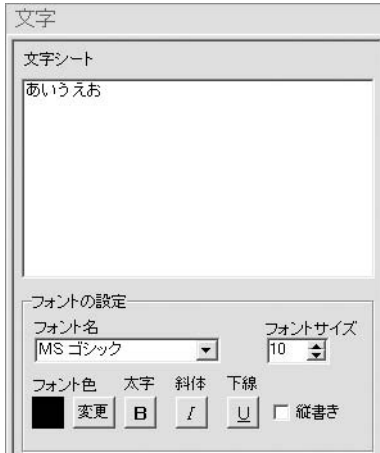
フォントサイズ

ラベルに入力するフォントのサイズを▲▼ボタンをクリックして数値を変えて変更します。

文字シートの編集項目

画面・各部の説明

文字シートのつづき



文字シートの編集項目

フォント色

ラベルに入力する文字の色を変更します。**変更** ボタンをクリックすると、カラーパレットが表示されますので、好きな色を選択して、**OK** ボタンをクリックしてください。

スタイル

太字

文字を太文字に変更します。 あいう → **あいう**

斜体

文字を斜体に変更します。 あいう → あいう

下線

文字に下線を付けます。 あいう → あいう

縦書き

このチェックボックスにチェックを入れると文字を縦書きに変更できます。※半角文字は横向きで、縦方向に配列されます。

画像シート



ボタンをクリックすると、画像シートを配置することができます。
画像シートはラベルに画像を挿入したい時に使用します。

入力した文字には効果として、「フォント(書体)の変更」、「文字の大きさの調整」、「文字の色の変更」、「通常・太字の変更」、「通常・斜体の変更」、「下線の有無の変更」、「横・縦書きの変更」ができます。



画像シートの編集項目

シート名

シート名が表示されます。

画像プレビュー

読み込んだ画像が表示されます。

透明にする色を設定する

このチェックボックスにチェックを入れると「透明色」で指定した色を透明にすることができます。

透明色

名刺に挿入したい画像の中の1色を透明にすることが出来ます。

画像プレビューをクリックして指定することができます。



画像の比率を固定する

このチェックボックスにチェックを入れると読み込んだ画像が元の画像と同じ縦横比になります。

画像シートのつづき



画像シートの編集項目

画像の比率を固定する

このチェックボックスにチェックを入れると読み込んだ画像が元の画像と同じ縦横比になります。

画像ファイル読み込み

ラベルに配置したい画像を読み込みます。

TWAIN取り込み

TWAIN規格の周辺機器（スキャナ等）から直接画像を取り込むことができます。対応した機器を接続して **TWAIN取り込み** ボタンをクリックすると、対応機器の一覧が表示されますので、取り込みに使用する機器を選択してください。

※スキャナの場合、各機器の取り込み専用のソフトが起動します。

機器や取り込み用のソフトのご不明な点等につきましては、各機器の説明書をご覧ください。

コピー

選択されている画像シートの画像をクリップボードにコピーします。

貼り付け

クリップボードにコピーされている画像を画像シートに貼り付けます。

消去

画像シートの画像を消去します。

画像シートの画像のみを消去するのでシートは残ります。

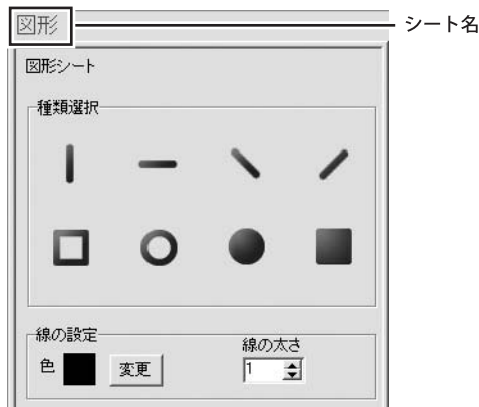
図形シート



ボタンをクリックすると、図形シートを配置することができます。

図形シートはラベルに図形を配置したい時に使用します。

棒線、斜線、四角の枠、丸枠、四角、丸の8種類の図形を作成することができます。



図形シートの編集項目

シート名

シート名が表示されます。

種類選択

ラベルに入力したい図形を選択します。図形シートを作成した時は、縦線になっていますので、他の図形に変更したい場合は、各図形のアイコンをクリックしてください。

線の設定

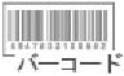
色

図形の色を変更します。**変更** ボタンをクリックすると、カラーパレットが表示されますので、好きな色を選択してください。

線の太さ

ラベルに入力する線の太さを▲▼ボタンをクリックして数値を変えて変更します。

バーコードシート



ボタンをクリックすると、バーコードシートを配置することができます。
バーコードシートはラベルにバーコードを配置したい時に使用します。

バーコード シート名

バーコードシート

■バーコードタイプ
QRコード

■コード

■QRモデル Model 2

■誤り訂正レベル M(15%)

☐ チェック/デシット

☒ バーコードの縦横比を固定する

更新

バーコードシートの編集項目

シート名

シート名が表示されます。

バーコードタイプ

▼をクリックして、作成するバーコードのタイプを選択します。

●QRコード

■コード

■QRモデル Model 2

■誤り訂正レベル M(15%)

コード

バーコードの内容を入力します。

QRモデル

▼をクリックして、QRコードのモデルを選択します。

誤り訂正レベル

▼をクリックして、誤り訂正レベルを選択します。

●EAN-13(JAN-13)

■コード

■EAN-13 オプションシートが自動的に追加されるために入力して下さい。

コード

バーコードの内容を入力します。

●EAN-8(JAN-8)

■コード

■EAN-8 オプションシートが自動的に追加されるために入力して下さい。

コード

バーコードの内容を入力します。

●UPC-A

■コード

コード

バーコードの内容を入力します。

●UPC-E

■コード

コード

バーコードの内容を入力します。

バーコードシートの編集項目

●CODABAR

コード

バーコードの内容を入力します。

スタートキャラクタ

▼をクリックして、スタートキャラクタを選択します。

ストップキャラクタ

▼をクリックして、ストップキャラクタを選択します。

●ITF

ベアラバー

チェックを入れると、ベアラバー（ITFバーコードを囲む黒枠線）を印刷します。

コード

バーコードの内容を入力します。

●STF

コード

バーコードの内容を入力します。

●CODE39

コード

バーコードの内容を入力します。

●CODE128

コードセット

▼をクリックして、コードセットを選択します。

コード

バーコードの内容を入力します。

バーコードシートの編集項目

●EAN-128

コードセット

▼をクリックして、コードセットを選択します。

コード

バーコードの内容を入力します。

●MaxiCode

文字列

バーコードの内容を入力します。

MaxiCodeモード

▼をクリックして、MaxiCodeモードを選択します。

●PDF417

文字列

バーコードの内容を入力します。

モデル

▼をクリックして、モデルを選択します。

●Data Matrix

文字列

バーコードの内容を入力します。

Data Matrixモデル

▼をクリックして、Data Matrixモデルを選択します。

バーコードシート

■バーコードタイプ
QRコード

■コード

■QRモデル ■誤り訂正レベル
Model 2 M(15%)

☐ チェックデジット
☒ バーコードの縦横比を固定する

更新

バーコードシートの編集項目

●郵便カスタマーコード

■郵便番号

■住所

郵便番号

郵便番号を入力します。

カスタマーコードサイズ

▲▼をクリックして、カスタマーコードサイズを入力します。

住所

住所を入力します。

●ISBN (13桁)

■コード

コード

バーコードの内容を入力します。

チェックデジット

チェックを入れると、チェックデジットが生成されます。

バーコードの縦横比を固定する

チェックを入れると、バーコードの縦横比を固定します。

更新

編集したバーコードを生成します。

携帯QRシート



ボタンをクリックすると、携帯QRシートを配置することができます。
携帯QRシートはラベルに携帯QRコードを挿入したい時に使用します。

携帯QRコード シート名

QRコードシート

■キャリア選択
☒ docomo ☐ SoftBank ☐ au

■作成タイプ
 電話帳登録 ブックマーク登録 メール送信 文字列

■名前 ■フリガナ

■TEL 1 ■TEL-AV

■メールアドレス

■ニックネーム ■誕生日

■メモ

■住所

■URL

更新

携帯QRコードシートの編集項目

キャリア選択

携帯QRコードを作成するキャリアを選択します。

作成タイプ

携帯QRコードの作成タイプを選択します。

docomo

●電話帳登録

■名前 ■フリガナ

■TEL 1 ■TEL-AV

■メールアドレス

■ニックネーム ■誕生日

■メモ

■住所

■URL

名前

電話帳登録する名前を入力します。

フリガナ

電話帳登録するフリガナを入力します。

TEL 1

電話帳登録する電話番号を入力します。

TEL-AV

電話帳登録するテレビ電話番号を入力します。

メールアドレス

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

ニックネーム

電話帳登録するニックネームを入力します。

誕生日

電話帳登録する誕生日を入力します。

メモ

電話帳登録するメモを入力します。

住所

電話帳登録する住所を入力します。

URL

電話帳登録するURLを入力します。

docomo

●ブックマーク登録

■サイト名

■URL

サイト名

ブックマーク登録するサイト名を入力します。

URL

ブックマーク登録するURLを入力します。

docomo

●メール送信

■宛先

■件名

■本文

宛先

メールを送信する宛先を入力します。

件名

送信するメールの件名を入力します。

本文

送信するメールの本文を入力します。

docomo

●文字列

■本文

本文

本文を入力します。

携帯QRコード シート名

QRコードシート

■キャリア選択
☒ docomo ☐ SoftBank ☐ au

■作成タイプ
 電話帳登録 フォーマット登録 メール送信 文字列

■名前 ■フリガナ

■TEL 1 ■TEL-AV

■メールアドレス

■ニックネーム ■誕生日

■メモ

■住所

■URL

更新

携帯QRコードシートの編集項目

SoftBank

●電話帳登録

■名	■フリガナ
■TEL 1	■TEL 2
■TEL 3	■メールアドレス
■メールアドレス2	■メールアドレス3
■メモ	

名前

電話帳登録する名前を入力します。

フリガナ

電話帳登録するフリガナを入力します。

TEL 1

電話帳登録する電話番号を入力します。

TEL 2

電話帳登録する電話番号を入力します。

TEL 3

電話帳登録する電話番号を入力します。

メールアドレス

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メールアドレス2

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メールアドレス3

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メモ

電話帳登録するメモを入力します。

SoftBank

●メール送信

■宛先
■件名
■本文

宛先

メールを送信する宛先を入力します。

件名

送信するメールの件名を入力します。

本文

送信するメールの本文を入力します。

SoftBank

●文字列

■本文

本文

本文を入力します。

au

●電話帳登録

■名	■フリガナ
■TEL 1	■TEL 2
■TEL 3	■メールアドレス
■メールアドレス2	■メールアドレス3
■メモ	

名前

電話帳登録する名前を入力します。

フリガナ

電話帳登録するフリガナを入力します。

TEL 1

電話帳登録する電話番号を入力します。

TEL 2

電話帳登録する電話番号を入力します。

TEL 3

電話帳登録する電話番号を入力します。

メールアドレス

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メールアドレス2

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メールアドレス3

電話帳登録するメールアドレスを入力します。

メモ

電話帳登録するメモを入力します。

携帯QRコード

QRコードシート

■キャリア選択
☒ docomo ☐ SoftBank ☐ au

■作成タイプ
 電話帳登録 フォーマット登録 メール送信 文字列

■名前 ■フリガナ

■TEL 1 ■TEL-AV

■メールアドレス

■ニックネーム ■誕生日

■メモ

■住所

■URL

更新

携帯QRコードシートの編集項目

au

●メール送信

■宛先

■件名

■本文

宛先

メールを送信する宛先を入力します。

件名

送信するメールの件名を入力します。

本文

送信するメールの本文を入力します。

au

●文字列

■本文

本文

本文を入力します。

更新

編集したバーコードを生成します。

差込シート



ボタンをクリックすると、差込シートを配置することができます。

差込シートはラベル1枚ごとに違う内容のデータ（文字、バーコード、携帯QR）を入力したい時に使用します。

差込

差込シート

文字列 バーコード 携帯QR CSV読み込み

差込むCSVファイルの列の選択

選択なし

前付文字 後付文字

フォントの設定

フォント名 MSゴシック フォントサイズ 10

フォント色 太字 斜体 下線

変更 B I U 縦書き

シート名

差込む
CSVの
内容表示欄

シート名

シート名が表示されます。

文字列

CSV差込の文字列の編集項目を表示します。

バーコード

CSV差込のバーコードの編集項目を表示します。

携帯QR

CSV差込の携帯QRの編集項目を表示します。

CSV読み込み

差込むCSVファイルを読み込みます。

差込むCSVファイルの列の選択

シートに差込むCSVファイルのデータの列を選択します。

差込むCSVの内容表示欄

差込むCSVファイルの列の選択で選択した列のCSVファイルの内容を表示します。

前付文字

差込むCSVデータの文字の前に文字を入力します。

営業一課

出根戸 太郎

入力した 前付文字 CSVファイルから 読み込んだデータ

差込（文字列）シートの編集項目

画面・各部の説明

差込（文字列）シートの編集項目

後付文字

差込むCSVデータの文字の後ろに文字を入力します。

出根戸 太郎 様
↑
CSVファイルから 入力した
読み込んだデータ 後付文字

フォント名

ラベルに入力する文字のフォントを▼をクリックして表示されるフォント名一覧から選択します。フォントの種類は、お使いのパソコンにインストールされているものをお使いいただけます。

フォントサイズ

ラベルに入力するフォントのサイズを▲▼ボタンをクリックして数値を変えて変更します。

フォント色

ラベルに入力する文字の色を変更します。変更 ボタンをクリックすると、カラーパレットが表示されますので、好きな色を選択して、OK ボタンをクリックしてください。

スタイル

太字

文字を太文字に変更します。 あいう → **あいう**

斜体

文字を斜体に変更します。 あいう → *あいう*

下線

文字に下線を付けます。 あいう → あいう

縦書き

このチェックボックスにチェックを入れると文字を縦書きに変更できます。※半角文字は横向きで、縦方向に配列されます。

差込（バーコード）シートの編集項目

バーコードタイプ

▼をクリックして、作成するバーコードのタイプを選択します。

●QRコード

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

QRモデル

▼をクリックして、QRコードのモデルを選択します。

誤り訂正レベル

▼をクリックして、誤り訂正レベルを選択します。

差込

差込シート
文字列 | バーコード | 携帯QR | CSV読み込み

■バーコードタイプ
QRコード

■コード
選択なし

■QRモデル
Model 2

■誤り訂正レベル
M(15%)

☐ チェックデジット

差込（バーコード）シートの編集項目

●EAN-13(JAN-13)

■コード
選択なし

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●EAN-8(JAN-8)

■コード
選択なし

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●UPC-A

■コード
選択なし

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●UPC-E

■コード
選択なし

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●CODABAR

■コード
選択なし

■TCL AV ■ストップキャラクタ
A A

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

スタートキャラクタ

▼をクリックして、スタートキャラクタを選択します。

ストップキャラクタ

▼をクリックして、ストップキャラクタを選択します。

●ITF

☐ ベアラバー

選択なし

ベアラバー

チェックを入れると、ベアラバー（ITFバーコードを囲む黒枠線）を印刷します。

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●STF

■コード
選択なし

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

差込

差込シート
 文字列 | バーコード | 携帯QR | CSV読み込み

■バーコードタイプ
 QRコード

■コード
 選択なし

■QRモデル
 Model 2

■誤り訂正レベル
 M(15%)

☐ チェックデジット

差込（バーコード）シートの編集項目

●CODE39

■コード
 選択なし

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●CODE128

A

■コード
 選択なし

コードセット

▼をクリックして、コードセットを選択します。

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●EAN-128

■コードセット
 A

■コード
 選択なし

コードセット

▼をクリックして、コードセットを選択します。

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●MaxiCode

■MaxiCodeモード
 Model 2

■文字列
 選択なし

MaxiCodeモード

▼をクリックして、MaxiCodeモードを選択します。

文字列

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●PDF417

■モデル
 Standard

■文字列
 選択なし

モデル

▼をクリックして、モデルを選択します。

文字列

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●Data Matrix

■Data Matrixモデル
 Square

■文字列
 選択なし

Data Matrixモデル

▼をクリックして、Data Matrixモデルを選択します。

文字列

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

差込（バーコード）シートの編集項目

差込（携帯QR）シートの編集項目

●郵便カスタマーコード

郵便番号

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

住所

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

●ISBN（13桁）

コード

▼をクリックして、差込をする列を選択します。

チェックデジット

チェックを入れると、チェックデジットが生成されます。

キャリア選択

携帯QRコードを作成するキャリアを選択します。

作成タイプ

携帯QRコードの作成タイプを選択します。

docomo

●電話帳登録

名前

▼をクリックして名前の差込をする列を選択します。

フリガナ

▼をクリックしてフリガナの差込をする列を選択します。

TEL1

▼をクリックして電話番号の差込をする列を選択します。

TEL-AV

▼をクリックしてTV電話番号の差込をする列を選択します。

メールアドレス

▼をクリックしてメールアドレスの差込をする列を選択します。

ニックネーム

▼をクリックしてニックネームの差込をする列を選択します。

誕生日

▼をクリックして誕生日の差込をする列を選択します。

メモ

▼をクリックしてメモの差込をする列を選択します。

住所

▼をクリックして住所の差込をする列を選択します。

URL

▼をクリックしてURLの差込をする列を選択します。

差込1

差込シート
文字列 | バーコード | 携帯QR | CSV読み込み

■キャリア選択
☒ docomo ☐ SoftBank ☐ au

電話帳登録 | ブックマーク登録 | メール送信 | 文字列

■名前
 選択なし

■フリガナ
 選択なし

■TEL1
 選択なし

■TEL-AV
 選択なし

■メールアドレス
 選択なし

■生年
 選択なし

■住所
 選択なし

■ニックネーム
 選択なし

■メモ
 選択なし

■URL
 選択なし

差込（携帯QR）シートの編集項目

docomo

●ブックマーク登録

■サイト名
 選択なし

■URL
 選択なし

サイト名

▼をクリックしてブックマーク登録するサイト名の差込をする列を選択します。

URL

▼をクリックしてブックマーク登録するURLの差込をする列を選択します。

docomo

●メール送信

■宛先
 選択なし

■件名
 選択なし

■本文
 選択なし

宛先

▼をクリックしてメールを送信する宛先の差込をする列を選択します。

件名

▼をクリックして送信するメールの件名の差込をする列を選択します。

本文

▼をクリックして送信するメールの本文の差込をする列を選択します。

docomo

●文字列

■本文
 選択なし

本文

▼をクリックして本文の差込をする列を選択します。

SoftBank

●電話帳登録

■名前
 選択なし

■フリガナ
 選択なし

■TEL1
 選択なし

■TEL2
 選択なし

■TEL3
 選択なし

■メールアドレス1
 選択なし

■メールアドレス2
 選択なし

■メモ
 選択なし

名前

▼をクリックして名前の差込をする列を選択します。

フリガナ

▼をクリックしてフリガナの差込をする列を選択します。

TEL1

▼をクリックして電話番号の差込をする列を選択します。

TEL2

▼をクリックして電話番号の差込をする列を選択します。

TEL3

▼をクリックして電話番号の差込をする列を選択します。

メールアドレス

▼をクリックしてメールアドレスの差込をする列を選択します。

メールアドレス2

▼をクリックしてメールアドレスの差込をする列を選択します。

メールアドレス3

▼をクリックしてメールアドレスの差込をする列を選択します。

メモ

▼をクリックしてメモの差込をする列を選択します。

SoftBank

●メール送信

■宛先
 選択なし

■件名
 選択なし

■本文
 選択なし

宛先

▼をクリックしてメールを送信する宛先の差込をする列を選択します。

件名

▼をクリックして送信するメールの件名の差込をする列を選択します。

本文

▼をクリックして送信するメールの本文の差込をする列を選択します。

差込1

差込シート
 文字列 | バーコード | 携帯QR | CSV読み込み

■キャリア選択
☒ docomo ☐ SoftBank ☐ au

電話帳登録 | フックマーク登録 | メール送信 | 文字列

■名前
 選択なし | 選択なし

■フリガナ
 選択なし | 選択なし

■TEL1
 選択なし | 選択なし

■TEL-AV
 選択なし | 選択なし

■メールアドレス
 選択なし | 選択なし

■誕生日
 選択なし | 選択なし

■住所
 選択なし | 選択なし

■ニックネーム
 選択なし | 選択なし

■メモ
 選択なし | 選択なし

■URL
 選択なし | 選択なし

差込（携帯QR）シートの編集項目

SoftBank

●文字列

■本文
 選択なし

本文

▼をクリックして本文の差込をする列を選択します。

au

●電話帳登録

■名前
 選択なし | 選択なし

■フリガナ
 選択なし | 選択なし

■TEL1
 選択なし | 選択なし

■TEL2
 選択なし | 選択なし

■メールアドレス
 選択なし | 選択なし

■誕生日
 選択なし | 選択なし

■住所
 選択なし | 選択なし

■ニックネーム
 選択なし | 選択なし

■メモ
 選択なし | 選択なし

■URL
 選択なし | 選択なし

名前

▼をクリックして名前の差込をする列を選択します。

フリガナ

▼をクリックしてフリガナの差込をする列を選択します。

TEL1

▼をクリックして電話番号の差込をする列を選択します。

TEL2

▼をクリックして電話番号の差込をする列を選択します。

TEL3

▼をクリックして電話番号の差込をする列を選択します。

メールアドレス

▼をクリックしてメールアドレスの差込をする列を選択します。

メールアドレス2

▼をクリックしてメールアドレスの差込をする列を選択します。

メールアドレス3

▼をクリックしてメールアドレスの差込をする列を選択します。

メモ

▼をクリックしてメモの差込をする列を選択します。

au

●メール送信

■宛先
 選択なし

■件名
 選択なし

■本文
 選択なし

宛先

▼をクリックしてメールを送信する宛先の差込をする列を選択します。

件名

▼をクリックして送信するメールの件名の差込をする列を選択します。

本文

▼をクリックして送信するメールの本文の差込をする列を選択します。

au

●文字列

■本文
 選択なし

本文

▼をクリックして本文の差込をする列を選択します。

文字・画像・図形・バーコード・携帯QR・CSV差込シート共通 シートの設定

シートの設定

各シートの編集画面上部にある **シートの設定** ボタンをクリックすると、シートの設定画面が表示されます。設定画面はシートの位置・サイズ等を変更する時に使用します。

各シート共通 シートの設定項目

シート名

選択されているシートの名前が表示されます。

シート名変更

シートの名前を変更します。新しくシートを追加するとシート名は、「画像」、「文字」等の名前がついていますが、シート名を自分で分かりやすいように変更することができます。



画像1 → ロゴマーク シート名を変更するとタブの名前も変わります。

シート削除

選択されているシートを削除します。
追加したシートを削除したい時などに使用します。

▲前面へ

複数のシートがある場合、他のシートに対しての上下を調整できます。

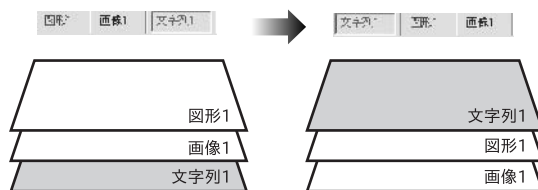
▲前面へ ボタンをクリックするたびにひとつずつ上へシートの位置が変わります。

▼背面へ

複数のシートがある場合、他のシートに対しての上下を調整できます。

▼背面へ ボタンをクリックするたびにひとつずつ下へシートの位置が変わります。

例：「文字列1」のシートを一番下から一番上の層に移動しました。



シート位置

シートの位置を横、縦のそれぞれの▲▼ボタンをクリックして、数値を変えて変更します。

シートサイズ

シートのサイズを横、縦のそれぞれの▲▼ボタンをクリックして、数値を変えて変更します。

(文字シートや画像シートの比率固定時は使用することができません)

画面・各部の説明

シートの設定

シート名

シート編集 シート名変更 シート削除

▲前面へ ▼背面へ

シート位置 [mm]

横 2.0 縦 2.0

シートサイズ [mm]

横 20.0 縦 20.0

☐ 表示なし ☐ 位置固定 ☐ 印刷なし

☒ ガイド用目盛りを表示

各シート共通 シートの設定項目

表示なし

このチェックボックスにチェックを入れると、選択されているシートの表示を消すことができます。印刷も行われませんので、印刷をする場合はチェックを外してください。

位置固定

このチェックボックスにチェックを入れると、選択されているシートの位置が固定され、位置の変更を行えません。

印刷なし

このチェックボックスにチェックを入れると、選択されているシートは印刷されません。

ガイド用目盛りを表示

このチェックボックスにチェックを入れると、プレビュー&編集エリアにガイド用目盛りを表示します。

用紙設定画面（一覧表示）



ボタンをクリックすると、下のような用紙設定画面が表示されます。用紙設定画面（一覧表示）では、各メーカーやユーザーが設定した用紙からラベルに使用するラベル用紙を選択することができます。



用紙のメーカー

使用するラベル用紙のメーカーを選択します。

▼をクリックするとメーカーの一覧が表示されます。

本ソフトで選択できる用紙メーカーは「エーワン」「エレコム」「サンワサプライ」「ナナクリエイト」「ヒサゴ」「マクセル」です。

用紙の型番

用紙メーカーを選択すると、収録されている用紙の型番の一覧が表示されます。

[登録を削除](#)

ユーザー設定で登録してある用紙データを削除します。

サイズ入力

用紙設定（サイズ入力）画面を表示します。

(詳細は33ページをご覧ください)

用紙プレビュー

選択した用紙のイメージが表示されます。

用紙方向

縦向き 用紙方向を縦向きにします。

横向き 用紙方向を横向きにします。

キャンセル

設定した内容をキャンセルしてメイン画面に戻ります。

サイズ変更

設定した内容で、メイン画面で作成途中のラベルの用紙設定を変更します。

新規作成

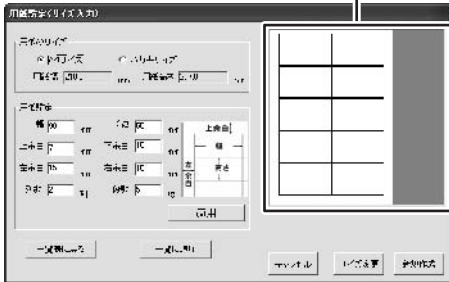
設定した内容で、メイン画面に新しいラベル作成画面を開きます。

用紙設定画面（サイズ入力）

サイズ入力

ボタンをクリックすると、下のような用紙設定画面(サイズ入力)が表示されます。用紙設定画面(サイズ入力)では、本ソフトに収録されていない用紙を使用する際に用紙サイズを設定して使用できます。

用紙プレビュー



用紙のサイズ

○A4サイズ

チェックを入れると、A4サイズの用紙が選択されます。

○ハガキサイズ

チェックを入れると、ハガキサイズの用紙が選択されます。

○用紙幅

A4、ハガキサイズの各用紙の用紙幅の数値が表示されます。

○用紙高さ

A4、ハガキサイズの各用紙の用紙の高さの数値が表示されます。

用紙設定

○幅

ラベル一枚の幅のサイズを入力します。

○高さ

ラベル一枚の高さのサイズを入力します。

○左余白

ラベルの左余白のサイズを入力します。

○右余白

ラベルの右余白のサイズを入力します。

○列数

ラベルの列数を入力します。

○段数

ラベルの段数を入力します。

一覧表に戻る

用紙設定画面（一覧表示）に戻ります。

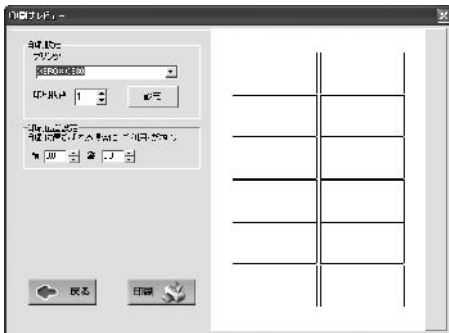
一覧に追加

設定した用紙サイズを用紙一覧に追加します。

印刷プレビュー画面



ボタンをクリックすると、下のような印刷プレビュー画面が表示されます。印刷プレビュー画面では、作成したラベルの印刷プレビューを確認し、印刷を行うことができます。



プリンタ

印刷に使用するプリンタを▼をクリックして選択します。

印刷枚数

印刷する枚数を▲▼ボタンをクリックして設定します。

設定

プリンタの設定画面が表示されます。

印刷位置指定

印刷位置がずれる場合に、各横・縦の項目の▲▼ボタンをクリックして設定します。

戻る

印刷プレビュー画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

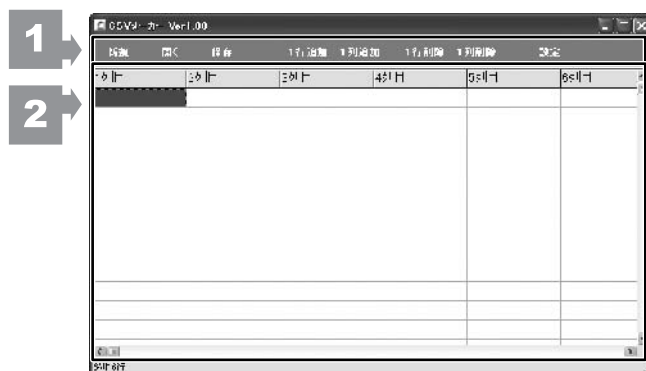
印刷

印刷を開始します。

CSVメーカー



ボタンをクリックすると、下のようなCSVメーカー画面が表示されます。CSVメーカー画面では、CSV差込シートで使用するCSVファイルを作成することができます。



- 1 ツールバー
- 2 CSVファイル作成
プレビュー

1 ツールバー

新規 開く 保存 1行追加 1列追加 1行削除 1列削除 設定

- 新規** 新しくCSVファイルを作成する画面を開きます。
- 開く** すでに作成保存されているCSVファイルを開きます。
- 保存** 作成したCSVファイルを保存します。
- 1行追加** 空の行を1行追加します。
- 1列追加** 空の列を1行追加します。
- 1行削除** 現在選択中の行を削除します。
- 1列削除** 現在選択中の列を削除します。
- 設定** 設定画面が表示され、保存の際の設定を行うことができます。

2 CSVファイル作成プレビュー

ここにCSVファイルの内容を入力します。

シリアルNo作成



ボタンをクリックすると、下のようなシリアルNo作成画面が表示されます。シリアルNo作成画面では、シリアルNoを作成して、CSVファイルで保存することができます。

**シリアル番号**

チェックを入れて、固定する文字などの設定を行います。

リセット

設定した内容をリセットします。

シリアル桁数

▼をクリックして、シリアル桁数を選択します。

生成数

数値を入力して、シリアルNoの生成数を設定します。

生成タイプ

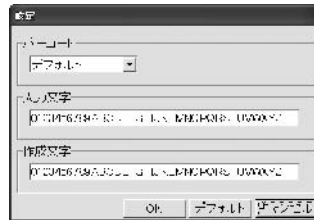
生成タイプを選択します。

進行状況

シリアルNo作成の進行状況を表示します。

設定

バーコード、入力文字、作成文字の設定を行います。

**バーコード**

バーコード用のシリアルNoを作成する場合 ▼をクリックして、バーコードの種類を選択します。

入力文字

ID番号で設定することができる文字を入力します。

※バーコード用のシリアルNoを作成する時は制限があります。

作成文字

シリアルNoに使用される文字を入力します。
※バーコード用のシリアルNoを作成する時は制限があります。

プレビュー

作成（保存）直後のみ、シリアル表示画面に作成されたシリアルが一覧表示されます。

シリアル生成

設定した内容でシリアルを作成します。
（ファイル形式はCSVファイルです）

キャンセル

シリアルNo作成を中止します。

終了

シリアルNo作成画面を終了します。

バーコードを作成する

バーコードを作成する (EAN-13)

ここでは、EAN-13のバーコードの作成方法を説明します。

※説明にあるすべての操作を行う必要はありませんので、実際の作成作業では必要のない項目は飛ばしながらお進みください。

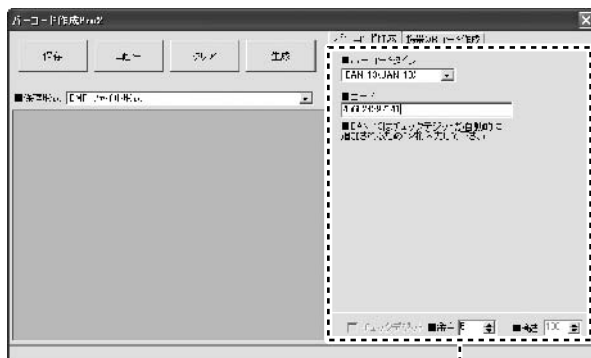
1 バーコード作成画面を表示します

作業選択画面から  ボタンをクリックします。

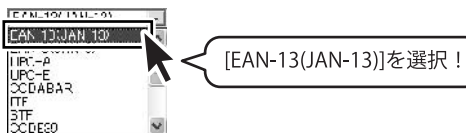


2 作成するバーコードの設定をします

バーコード編集画面の各項目を設定します。
ここでは、[バーコードタイプ]、[コード]、[余白]の設定を行います。



①[バーコードタイプ]から[EAN-13(JAN-13)]を選択します。



②[コード]にバーコードの内容を入力します。



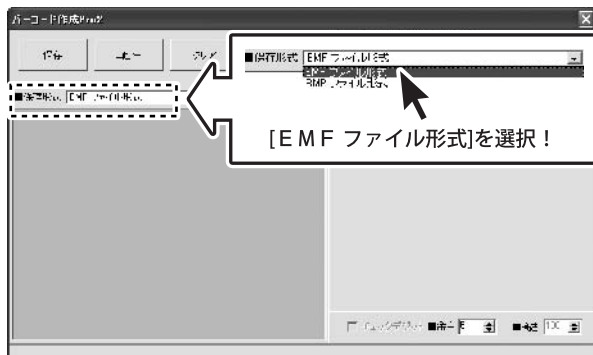
③▲▼をクリックして、[余白]を設定します



バーコードを作成する

3 バーコードの保存形式を選択します

[保存形式]から▼をクリックして、保存形式を選択します。ここでは、[EMFファイル形式]を選択します。



4 バーコードを生成します

すべてのバーコードの設定が終わりましたら、**生成** ボタンをクリックします。バーコードが生成されます。

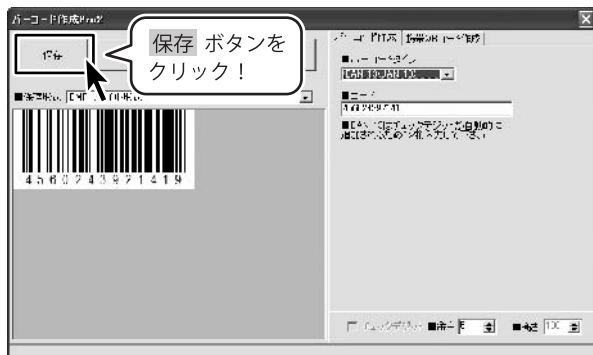


バーコードが生成されました

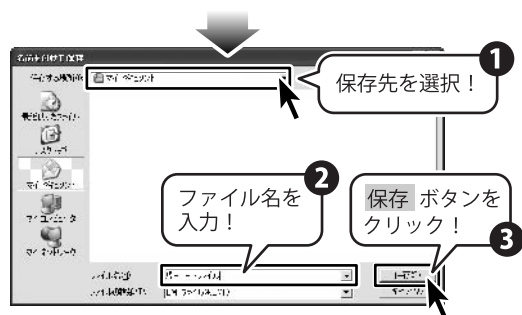
5 生成したバーコードを保存します

生成したバーコードをEMF形式で保存する

バーコードが生成しましたら、**保存** ボタンをクリックします。名前を付けて保存画面が表示されますので、バーコードを保存する場所を指定し、ファイル名を入力して、**保存** ボタンをクリックしてください。



バーコードを作成する

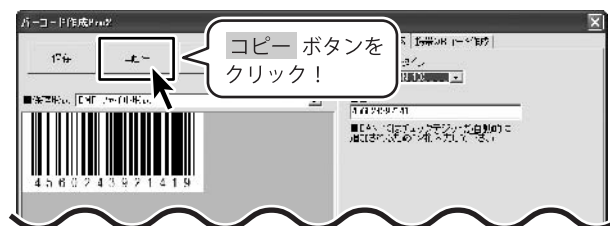


生成したバーコードをクリップボードにコピーする

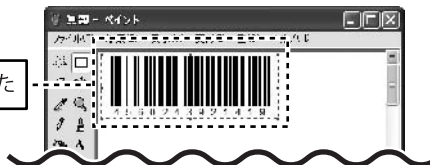
バーコードが生成したら、**コピー** ボタンをクリックします。※この時、画面上では変化は現れません。

クリップボードからの貼り付け機能のあるアプリケーションソフト等を起動し、**[貼り付け]**作業を行います。
ここでは、Windows標準の「ペイント」を例に説明します。
「ペイント」を起動したら、**[編集]**メニューから**[貼り付け]**を選択してください。
生成したバーコードが貼り付けられます。

※お使いのソフトによっては、クリップボード機能が動作しない場合もあります。



バーコードが貼り付けられました



バーコードを作成する

バーコードを作成する（郵便カスタマーコード）

ここでは、郵便カスタマーコードのバーコードの作成方法を説明します。

※説明にあるすべての操作を行う必要はありませんので、実際の作成作業では必要のない項目は飛ばしながらお進みください。

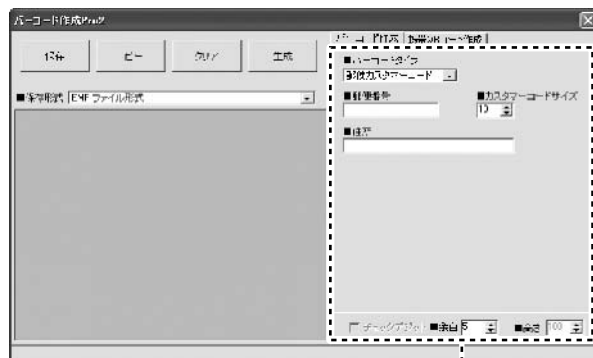
1 バーコード作成画面を表示します

作業選択画面から  ボタンをクリックします。



2 作成するバーコードの設定をします

バーコード編集画面の各項目を設定します。
ここでは、[バーコードタイプ]、[郵便番号]、[住所]、[カスタマーコード]、[余白]、[高さ]の設定を行います。



①[バーコードタイプ]から[郵便カスタマーコード]を選択します



②[郵便番号]に郵便番号、[住所]に住所を入力します



バーコードを作成する

- ③▲▼をクリックして、[カスタマーコードサイズ]を設定します

■カスタマーコードサイズ
10

[カスタマーコードサイズ]を設定！

- ④▲▼をクリックして、[余白]を設定します

■余白 5

[余白]を設定！

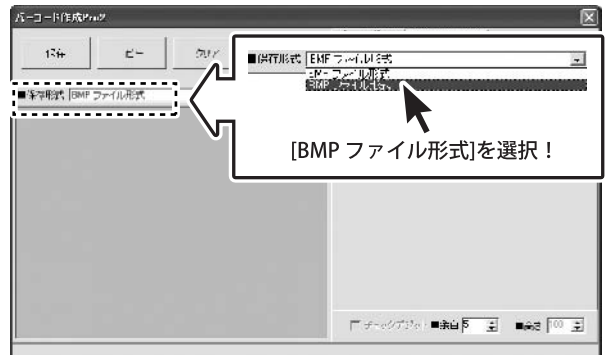
- ⑤▲▼をクリックして、[高さ]を設定します

■高さ 100

[高さ]を設定！

3 バーコードの保存形式を選択します

[保存形式]から▼をクリックして、保存形式を選択します。ここでは、[BMP ファイル形式]を選択します。



4 バーコードを生成します

すべてのバーコードの設定が終わりましたら、**生成** ボタンをクリックします。バーコードが生成されます。



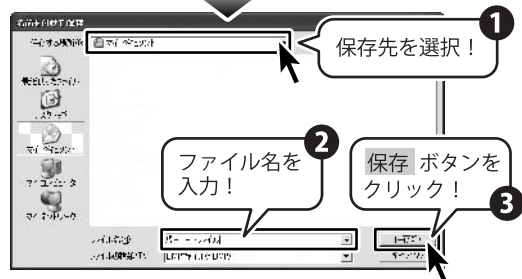
バーコードが生成されました

バーコードを作成する

5 生成したバーコードを保存します

生成したバーコードをBMP形式で保存する

バーコードが生成したら、**保存** ボタンをクリックします。名前を付けて保存画面が表示されますので、バーコードを保存する場所を指定し、ファイル名を入力して、**保存** ボタンをクリックしてください。

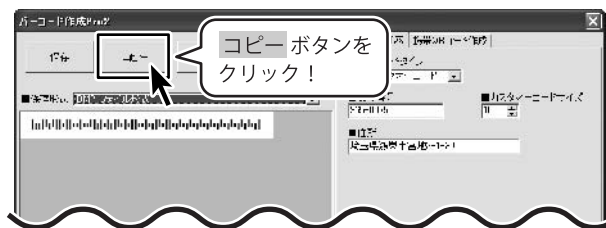


生成したバーコードをクリップボードにコピーする

バーコードが生成したら、**コピー** ボタンをクリックします。※この時、画面上では変化は現れません。

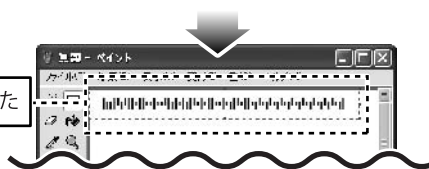
クリップボードからの貼り付け機能のあるアプリケーションソフト等を起動し、[貼り付け]作業を行います。ここでは、Windows標準の「ペイント」を例に説明します。「ペイント」を起動したら、[編集]メニューから[貼り付け]を選択してください。生成したバーコードが貼り付けられます。

※お使いのソフトによっては、クリップボード機能が動作しない場合があります。



バーコードを作成する

バーコードが貼り付けられました



バーコード入りの商品ラベルを作成・印刷する (ITF)

ここでは、新規作成で1からラベルを作成する例を説明します。

※説明にあるすべての操作を行う必要はありませんので、実際の作成作業では必要のない項目は飛ばしながらお進みください。

	カーネーション（ピンク） 入数 1,000本  0123456789	ここでは、エーワン社製の【品番】29221を使用して、左のようなラベルの作成方法を説明していきます。
---	---	---

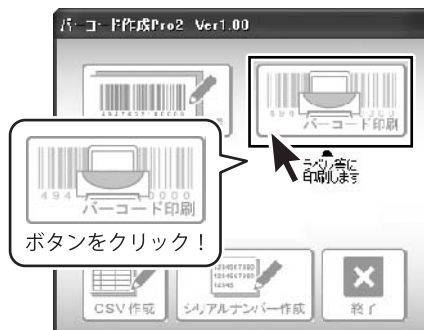
1 バーコード印刷画面を表示します

作業選択画面から



ボタンをクリック

します。



バーコードを作成する

2

用紙の設定をします



用紙設定

ボタンをクリックして、
用紙の設定画面を表示します。

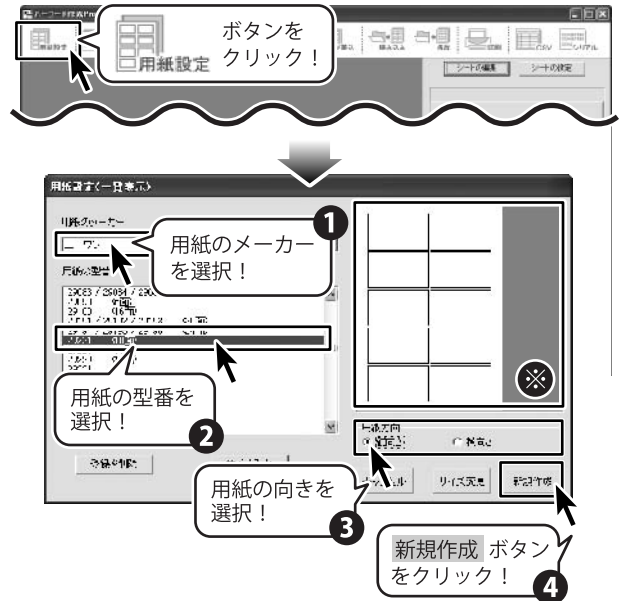
▼をクリックして、用紙のメーカーを選択します。
用紙のメーカーを選択しましたら、用紙の型番をクリック
します。
用紙のメーカー、用紙の型番を選択しましたら、用紙
の向きを選択し、**新規作成** ボタンをクリックします。

使用したい用紙が一覧にない場合は、33ページをご参照
の上、用紙設定を行ってください。



用紙の向きについて

一般的には、縦向きを選択した場合は縦長のラベル、横向き
を選択した場合は、縦長のラベルを作成することができます。
※用紙によっては、逆の場合もありますので必ず画面右側に
表示される用紙のイメージ画像でご確認下さい。



3

図形を配置します



図形

ボタンをクリックして、図形シートを
作成します。

図形シートを作成しましたら、画面右側のシートの編集
エリア内の種類選択の中から□をクリックして選択
します。

図形を配置しましたら、色、サイズを設定して、最後に
位置を調整します。

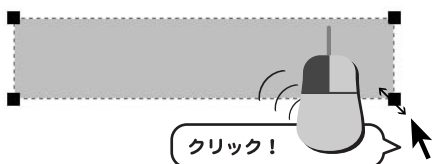


バーコードを作成する



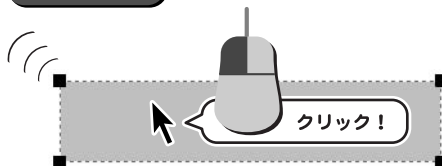
マウス操作で図形シートのサイズ・位置変更

サイズ変更



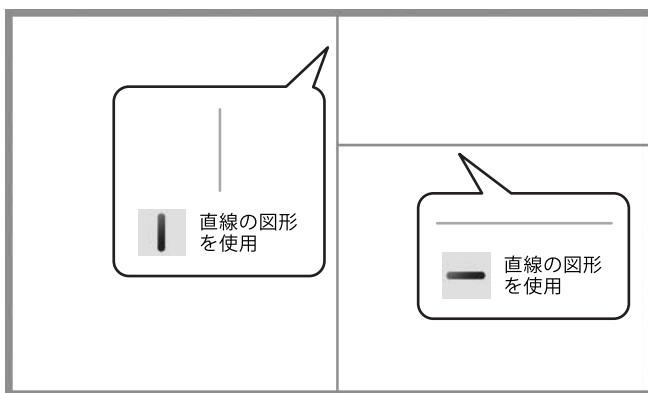
図形シートの四隅にある■にマウスを合わせて、クリックしたままマウスを移動すると、図形のサイズを変更できます。

位置変更



図形シートの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、図形的位置を変更できます。

その他、下記のように図形を配置します。



バーコードを作成する

4

画像を配置します

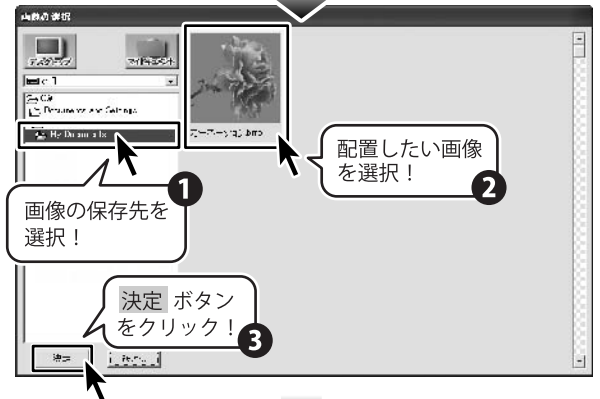
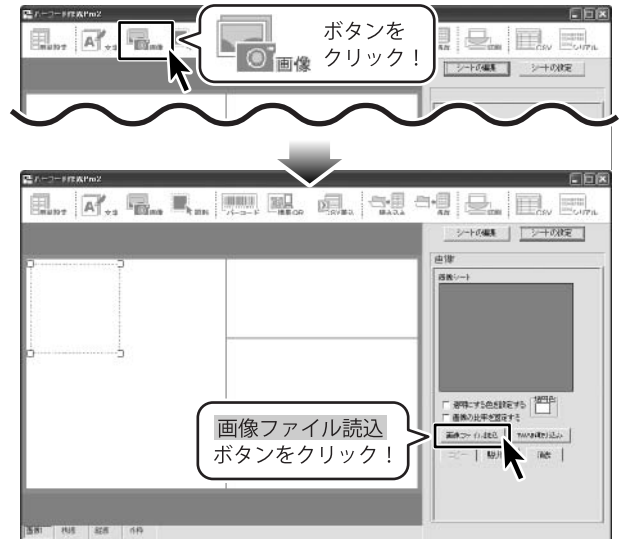
※予め、ご利用のパソコンに画像データをご用意ください。



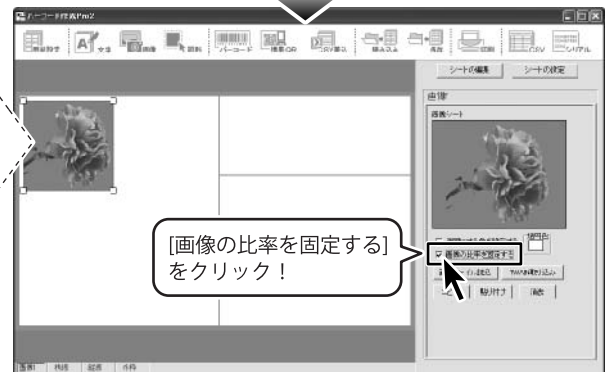
ボタンをクリックして、画像シートを作成します。

画像シートを作成しましたら、画面右側のシートの編集エリア内の **画像ファイル読込** ボタンをクリックしてラベルに配置する画像ファイルの選択画面を表示します。

画像の選択画面が表示されたら、画像の保存先を選択後、表示された画像の中から、画像をクリックして選択します。画像を選択しましたら、**決定** ボタンをクリックしてください。



画像シートに画像が読み込まれました。シートの編集エリア内の「画像の比率を固定する」にチェックを入れると、元の画像と同じ比率のまま拡大縮小をすることができます。

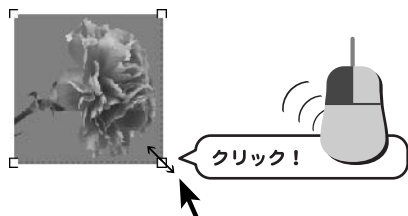


バーコードを作成する



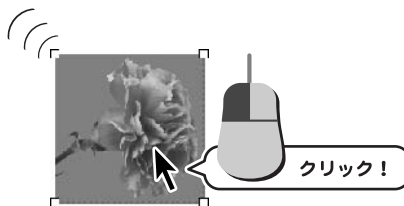
マウス操作で画像シートのサイズ・位置変更

サイズ変更



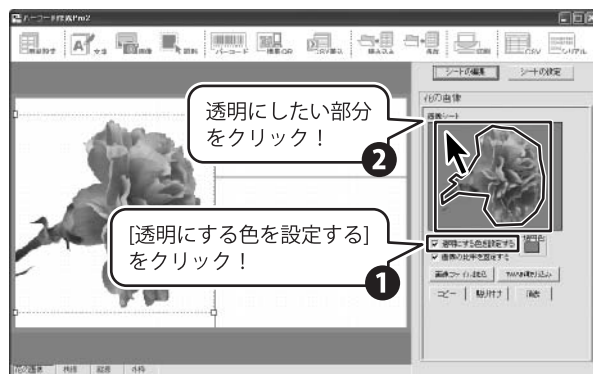
画像シートの四隅にある■にマウスを合わせて、クリックしたままマウスを移動すると、画像のサイズを変更できます。

位置変更



画像シートの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、画像の位置を変更できます。

次に配置した画像の背景の色をシートの編集エリア内の[透明にする色を設定する]機能を使って透過します。まず、[透明にする色を設定する]のチェックボックスをクリックして、チェックを入れます。次に透明にする色を画像プレビューをクリックして設定します。透明にする色を設定すると、設定した色が透明になり、画像がくりぬかれて表示されます。最後に位置、サイズを調整します。

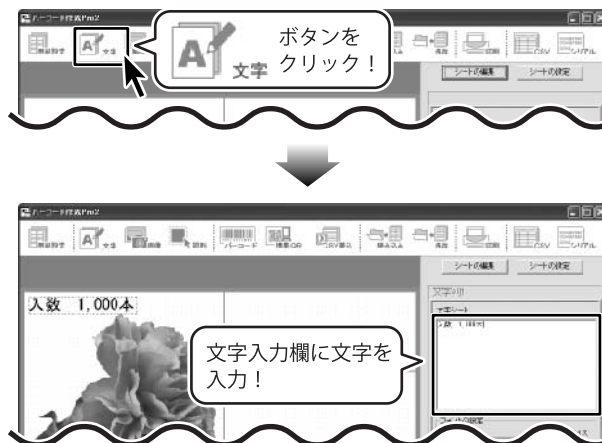


5 文字を入力します



ボタンをクリックして、文字シートを作成します。

文字シートを作成しましたら、画面右側のシートの編集エリア内の文字入力欄に文字を入力します。



バーコードを作成する

文字を入力したら、フォント、サイズ等の設定して、最後に位置を調整します。
ここでは、フォントを[MS Pゴシック]、サイズを[13]に指定します。



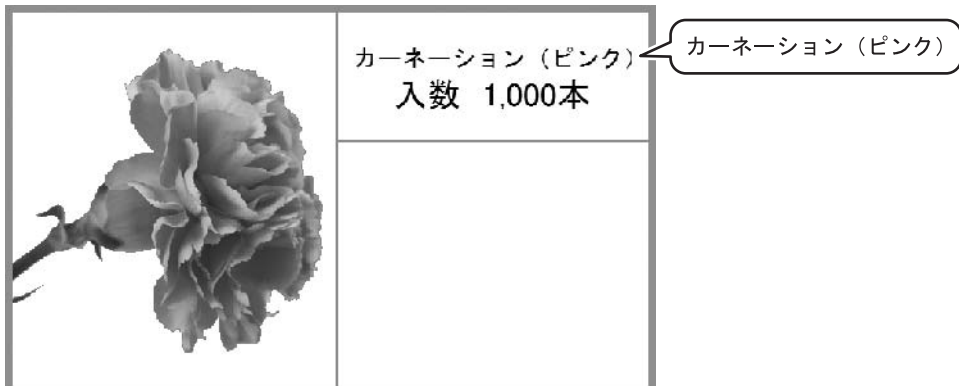
マウス操作で文字シートのサイズ・位置変更

位置変更

画像シートの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、画像の位置を変更できます。



その他、下記のように文字を配置します。



バーコードを作成する

6

バーコードを配置します



ボタンをクリックして、バーコードシートを作成します。

バーコードシートを作成したら、画面右側のシートの編集エリア内のバーコードの設定を行います。バーコードの設定が終わりましたら、**更新** ボタンをクリックします。プレビュー&編集エリアにバーコードが生成されます。

バーコードを配置したら、位置、サイズ等を調整・変更します。



①[バーコードタイプ]から[ITF]を選択します



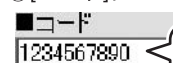
[ITF]を選択!

②[ベアラバー]の有無を設定します



ベアラバーの有無を設定!

③[コード]にバーコード内容を入力します



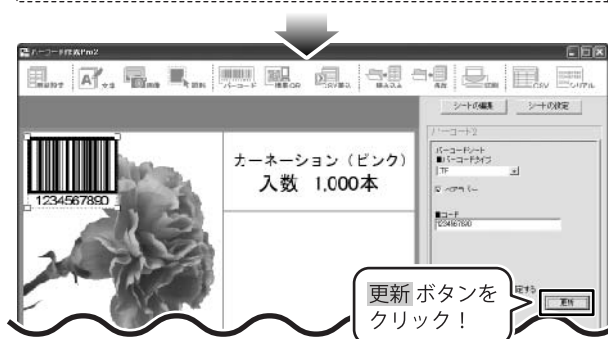
バーコードの内容を入力!

④[チェックデジット]、[バーコードの縦横比を固定する]各項目の有無を設定します

☐ チェックデジット

☒ バーコードの縦横比を固定する

各項目を設定!

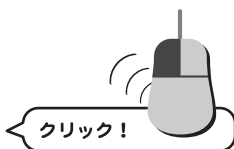


バーコードを作成する



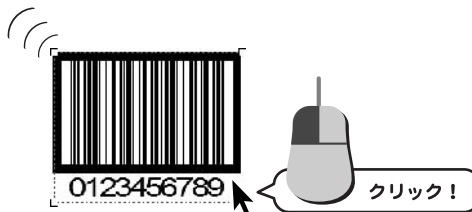
マウス操作でバーコードシートのサイズ・位置変更

サイズ変更



バーコードシートの四隅にある□にマウスを合わせて、クリックしたままマウスを移動すると、画像のサイズを変更できます。

位置変更



バーコードシートの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、バーコードの位置を変更できます。

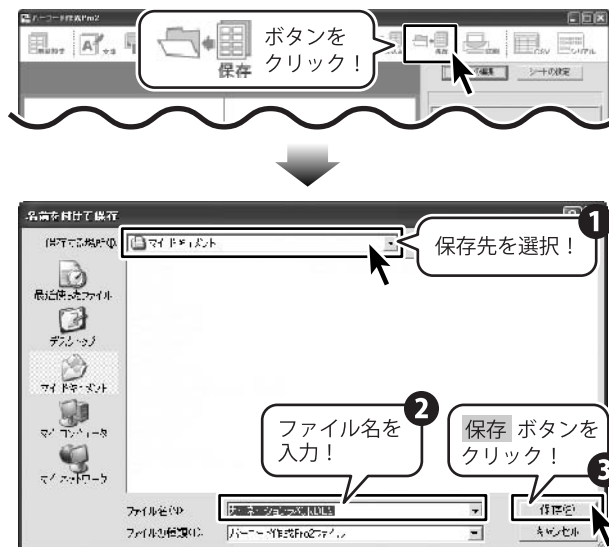
7

作成したラベルを保存します



ボタンをクリックして、保存作業を行います。

名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先を選択して、ファイル名を入力後、**保存** ボタンをクリックして保存してください。
※分かりやすい場所に、分かりやすい名前で作成作業を行ってください。



8

作成したラベルを印刷します



ボタンをクリックして、印刷プレビュー画面を表示し、印刷の準備を行います。



バーコードを作成する

印刷プレビュー画面が表示されましたら、プリンタを選択し、設定 ボタンをクリックしてプリンタの設定を行ってください。

プリンタの設定がすべて終わりましたら、印刷枚数を設定し、すべての設定が終わりましたら、印刷 ボタンをクリックしてください。印刷ははじまります。

※プリンタの設定を行う画面が表示されますが、プリンタ自体の設定につきましては、プリンタの説明書やメーカーにご確認ください。

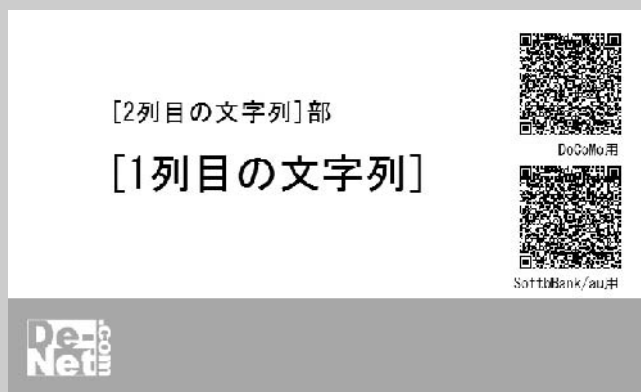
※印刷を行う際は、A4用紙などに試し印刷等を行い、十分に確認をしてからラベル用紙等に印刷を行ってください。



CSVファイルを使用してラベルを作成・印刷する（携帯QRコード）

ここでは、新規作成で1からラベルを作成する例を説明します。

※説明にあるすべての操作を行う必要はありませんので、実際の作成作業では必要のない項目は飛ばしながらお進みください。



ここでは、エーワン社製の【品番】29221を使用して、左のようなラベルの作成方法を説明していきます。

1列目の文字列には
名前
2列目の文字列には
部署
3列目の文字列には
名前のフリガナ
4列目の文字列には
電話番号
5列目の文字列には
メールアドレスを入力します。

1列目	2列目	3列目	4列目	5列目
上田 大志	第二営業	〒100-0001	03-1234-5678	daiichi@eone.com
田中 一郎	経理	〒100-0002	03-1234-5679	tanaka@eone.com
佐藤 花子	第一営業	〒100-0003	03-1234-5680	sato@eone.com
小林 健太	マーケティング	〒100-0004	03-1234-5681	kobayashi@eone.com
高橋 誠一	企画開発	〒100-0005	03-1234-5682	takahashi@eone.com
北原 和也	企画開発	〒100-0006	03-1234-5683	kita@eone.com

CSVファイルは左のようなファイルを使用します。

1列目には名前
2列目には部署
3列目には名前のフリガナ
4列目には電話番号
5列目にはメールアドレスが入力されています。

バーコードを作成する

1 バーコード印刷画面を表示します

作業選択画面から  ボタンをクリックします。



2 用紙の設定をします

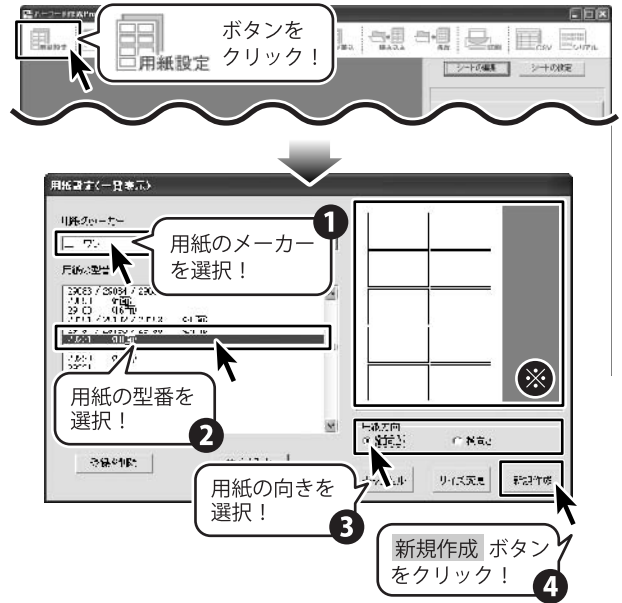
 ボタンをクリックして、
用紙の設定画面を表示します。

▼をクリックして、用紙のメーカーを選択します。
用紙のメーカーを選択したら、用紙の型番をクリック
します。
用紙のメーカー、用紙の型番を選択したら、用紙
の向きを選択し、**新規作成** ボタンをクリックします。

使用したい用紙が一覧にない場合は、33ページをご参照
の上、用紙設定を行ってください。

memo 用紙の向きについて

一般的には、縦向きを選択した場合は縦長のラベル、横向き
を選択した場合は、縦長のラベルを作成することができます。
※用紙によっては、逆の場合もありますので必ず画面右側に
表示される用紙のイメージ画像でご確認下さい。



3 図形を配置します

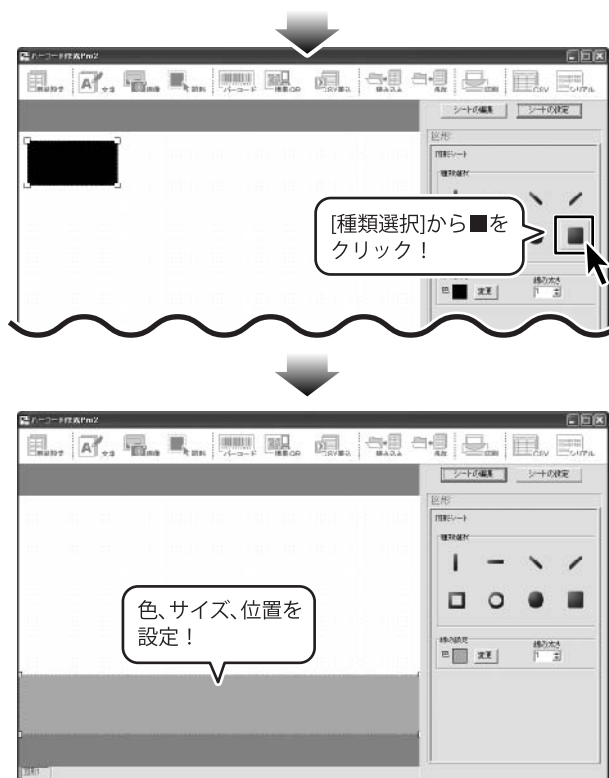
 ボタンをクリックして、図形シートを
作成します。



バーコードを作成する

図形シートを作成しましたら、画面右側のシートの編集エリア内の種類選択の中から■をクリックして選択します。

図形を配置しましたら、色、サイズを設定して、最後に位置を調整します。



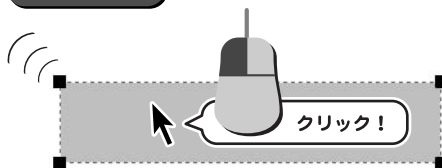
マウス操作で図形シートのサイズ・位置変更

サイズ変更



図形シートの四隅にある■にマウスを合わせて、クリックしたままマウスを移動すると、図形のサイズを変更できます。

位置変更



図形シートの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、図形の位置を変更できます。

バーコードを作成する

4

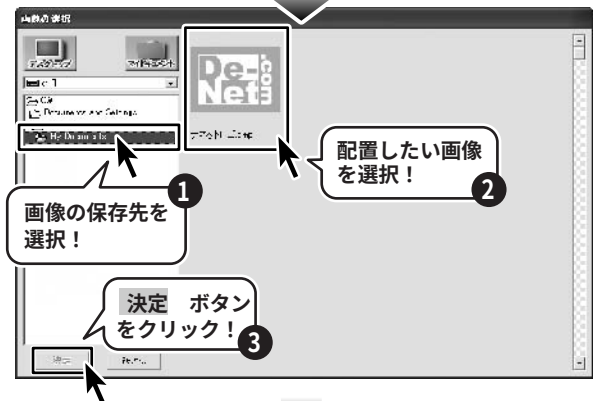
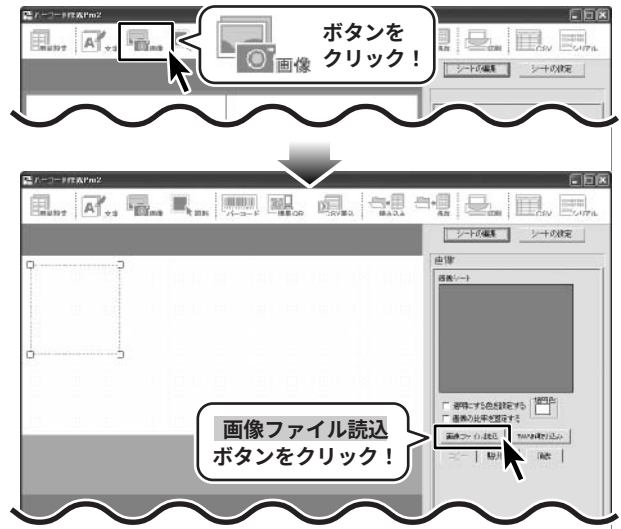
画像を配置します ※予め、ご利用のパソコンに画像データをご用意ください。



ボタンをクリックして、画像シートを作成します。

画像シートを作成したら、画面右側のシートの編集エリア内の **画像ファイル読込** ボタンをクリックしてラベルに配置する画像ファイルの選択画面を表示します。

画像の選択画面が表示されたら、画像の保存先を選択後、表示された画像の中から、画像をクリックして選択します。画像を選択したら、**決定** ボタンをクリックしてください。



画像シートに画像が読み込まれました。
シートの編集エリア内の「画像の比率を固定する」にチェックを入れると、元の画像と同じ比率のまま拡大縮小をすることができます。



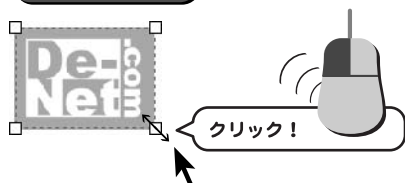
バーコードを作成する

最後に画像シートの位置、サイズを調整します。



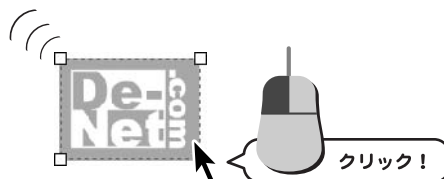
マウス操作で画像シートのサイズ・位置変更

サイズ変更



画像シートの四隅にある■にマウスを合わせて、クリックしたままマウスを移動すると、画像のサイズを変更できます。

位置変更



画像シートの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、画像の位置を変更できます。

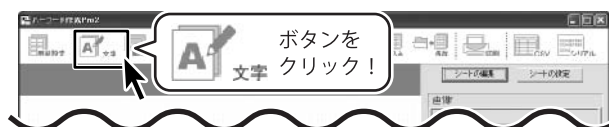
5

文字を入力します



ボタンをクリックして、文字シートを作成します。

文字シートを作成したら、画面右側のシートの編集エリア内の文字入力欄に文字を入力します。



バーコードを作成する

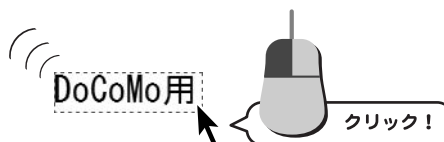
文字を入力したら、フォント、サイズ等の設定して、最後に位置を調整します。
ここでは、フォントを[MS ゴシック]、サイズを[6]に指定します。



マウス操作で文字シートのサイズ・位置変更

位置変更

画像シートの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、画像の位置を変更できます。



その他、下記のように文字を配置します。



バーコードを作成する

6

差込シートを配置します（文字列）



ボタンをクリックして、差込シートを作成します。

差込シートを作成しましたら、画面右側のシートの編集エリア内の差込シートの設定を行います。



①[差込タイプ]から[文字列]を選択します

文字列 | バーコード | 換装QR

[文字列]を選択！

②▼をクリックして、[差込むCSVファイルの列の選択]を設定します

差込むCSVファイルの列の選択
選択なし
1列目の文字列
2列目の文字列
3列目の文字列
4列目の文字列
5列目の文字列

差込むCSVファイルの列を選択！（2列目：部署）

③[後付文字]を入力します

後付文字

部

後付する文字を入力します

④▼をクリックして、[フォント名]から使用するフォントを選択します

フォント名
MS ゴシック
Monotype Corsiva
Monotype Sorts
MS Outlook
MS Pゴシック
MS P明朝
MS IT Gothic
MS ゴシック

使用するフォントを選択！

バーコードを作成する

差込シートの設定が終わりましたら、位置、サイズ等を調整・変更します。



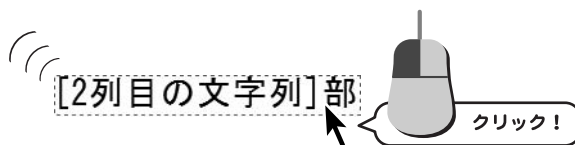
⑤▲▼をクリックして、[フォントサイズ]を設定します



マウス操作で差込シートのサイズ・位置変更

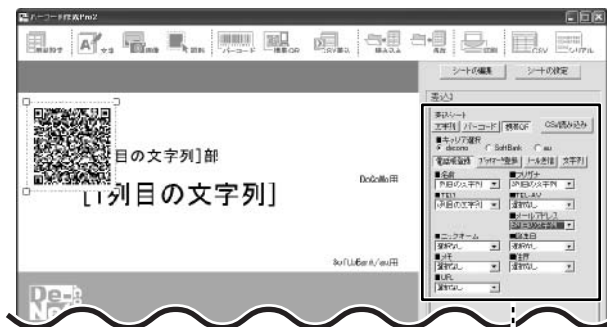
位置変更

差込シートの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、差込シートの位置を変更できます。



バーコードを作成する

差込シートの設定が終わりましたら、位置、サイズ等を調整・変更します。



④▼をクリックして、各項目の差込むCSVファイルの列を選択します

■名前	■フリガナ
1列目の文字列	3列目の文字列
■TEL1	■TEL-AV
4列目の文字列	選択なし
■ニックネーム	■メールアドレス
選択なし	5列目の文字列
■メモ	選択なし
1列目の文字列	1列目の文字列
2列目の文字列	2列目の文字列
3列目の文字列	3列目の文字列
■URL	5列目の文字列
選択なし	

差込むCSVファイルの列を選択！



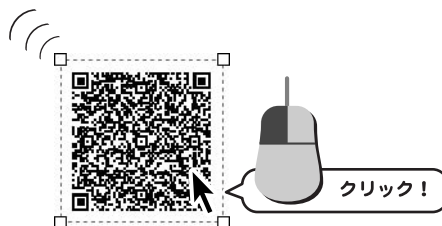
位置を調整！



マウス操作で差込シートのサイズ・位置変更

位置変更

差込シートの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、差込シートの位置を変更できます。



バーコードを作成する

その他、下記のように差込シートを配置します。

[2列目の文字列]部

[1列目の文字列]

差込シート

文字列 バイコード 携帯QR CSV読み込み

■キャリア選択
☐ docomo ☒ SoftBank ☐ au

■キャリア別設定

■名前	■リザナ
1列目の文字列	3列目の文字列
■E1	■E1E2
4列目の文字列	■E3E4
■E5	■メールアドレス
■E6	5列目の文字列
■メールアドレス	■メールアドレス
■E7	■E7E8
■E9	■E9E10
■E11	■E11E12
■E13	■E13E14
■E15	■E15E16
■E17	■E17E18
■E19	■E19E20
■E21	■E21E22
■E23	■E23E24
■E25	■E25E26
■E27	■E27E28
■E29	■E29E30
■E31	■E31E32
■E33	■E33E34
■E35	■E35E36
■E37	■E37E38
■E39	■E39E40
■E41	■E41E42
■E43	■E43E44
■E45	■E45E46
■E47	■E47E48
■E49	■E49E50
■E51	■E51E52
■E53	■E53E54
■E55	■E55E56
■E57	■E57E58
■E59	■E59E60
■E61	■E61E62
■E63	■E63E64
■E65	■E65E66
■E67	■E67E68
■E69	■E69E70
■E71	■E71E72
■E73	■E73E74
■E75	■E75E76
■E77	■E77E78
■E79	■E79E80
■E81	■E81E82
■E83	■E83E84
■E85	■E85E86
■E87	■E87E88
■E89	■E89E90
■E91	■E91E92
■E93	■E93E94
■E95	■E95E96
■E97	■E97E98
■E99	■E99E100

手順7と同じ手順です。

7 作成したラベルを保存します



ボタンをクリックして、保存作業を行います。

名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先を選択して、ファイル名を入力後、**保存** ボタンをクリックして保存してください。

※分かりやすい場所に、分かりやすい名前で保存作業を行ってください。

8 作成したラベルを印刷します



ボタンをクリックして、印刷プレビュー画面を表示し、印刷の準備を行います。

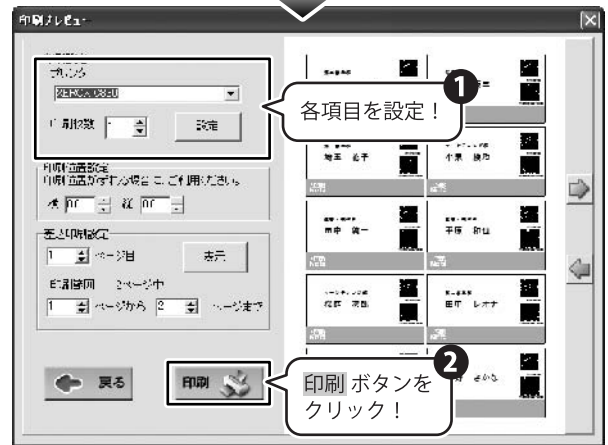
バーコードを作成する

印刷プレビュー画面が表示されましたら、プリンタを選択し、**設定** ボタンをクリックしてプリンタの設定を行ってください。

プリンタの設定がすべて終わりましたら、印刷枚数を設定し、すべての設定が終わりましたら、**印刷** ボタンをクリックしてください。印刷が始まります。

※プリンタの設定を行う画面が表示されますが、プリンタ自体の設定につきましては、プリンタの説明書やメーカーにご確認ください。

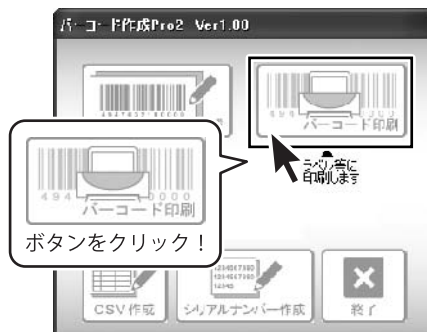
※印刷を行う際は、A4用紙などに試し印刷等を行い、十分に確認をしてからラベル用紙等に印刷を行ってください。



作成（保存）したラベルファイルを開く

1 バーコード印刷画面を表示します

作業選択画面から  ボタンをクリックします。



2 ファイルを開きます



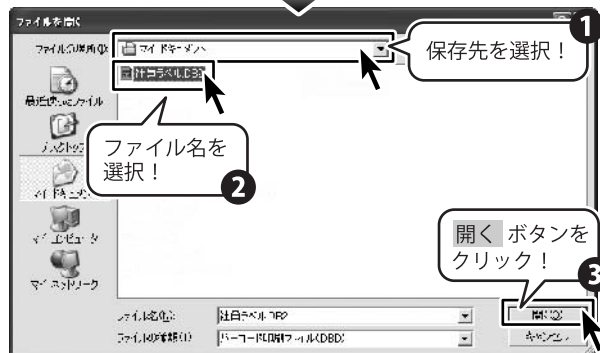
ボタンをクリックして、ファイルを開く画面を表示します。

[ファイルの場所]から作成したラベルのデータを保存した場所を選択し、ファイル名をクリックして、**保存** ボタンをクリックします。

また、ラベルのファイルを直接ダブルクリックしても、ファイルを開くことができます。

列と段の間にある余白は、入力された数値を元に計算して自動的に決定されますので、余白が等間隔ではない場合、印刷時にズレが生じます。ご注意ください。

※差込シートをご使用の場合は、「差込シート」の「CSV読み込み」から、再度CSVファイルを読み込む必要があります。



ファイルが開きました

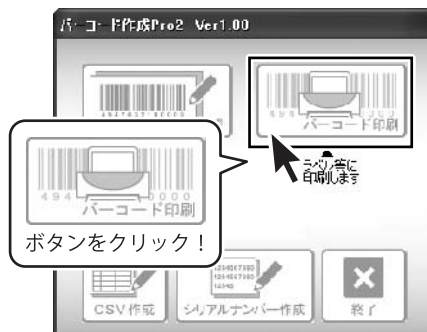


用紙サイズ入力

使用したいラベル用紙が一覧にない場合は、お持ちのラベル用紙に合わせた用紙とラベルのサイズを設定して、本ソフトで使うことができます。

1 バーコード印刷画面を表示します

作業選択画面から  ボタンをクリックします。

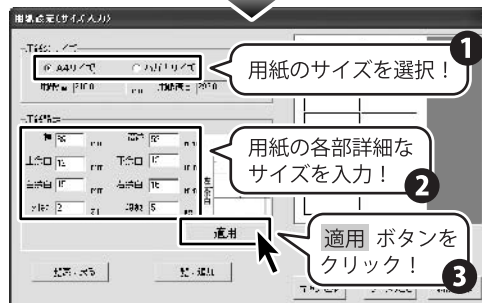


2 用紙サイズを入力します



ボタンをクリックして、用紙の設定画面を表示します。

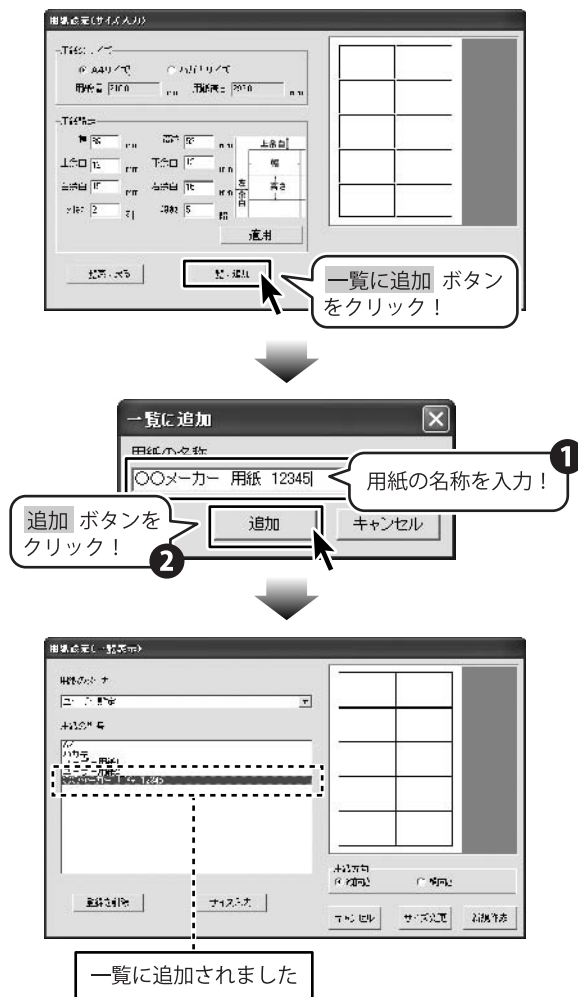
サイズ入力 ボタンをクリックして、用紙設定(サイズ入力)画面を表示します。(詳しくは33ページをご参照下さい。)まず、用紙のサイズを選択します。次に、用紙の各部の詳細なサイズを入力し、**適用** ボタンをクリックします。各入力欄のサイズは右側にある対応図を参考にしてください。



その他の操作・機能

設定が完了しましたら、**一覧に追加** ボタンをクリックします。一覧に追加画面が表示されますので、用紙の名称を入力し、**追加** ボタンをクリックしてください。

用紙設定（一覧表示）画面に用紙が追加されます。



CSVファイルの作成方法

1 CSVメーカーを起動する



ボタン(WindowsXPの場合は  スタート ボタン)をクリックして、「すべてのプログラム」→「De-net」→「バーコード印刷Pro2」とたどって「CSVメーカー」をクリックしますと本ソフトが起動します。

※WindowsXPより以前のWindowsをお使いの場合「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されています。

2 文字を入力する

入力したいところをクリックすると、青色に変わり選択状態になります。入力欄が青色に変わりましたら、文字を入力します。
例として、ここでは1列目に氏名、2列目にはフリガナ、3列目には都道府県を入力します。



2 入力したファイルを保存する

すべての項目を入力し終えましたら、保存ボタンをクリックしてください。保存ウィザード画面が表示されますので、画面の指示に従って保存作業を進めてください。



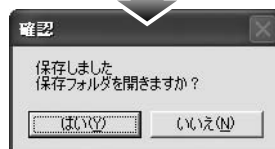
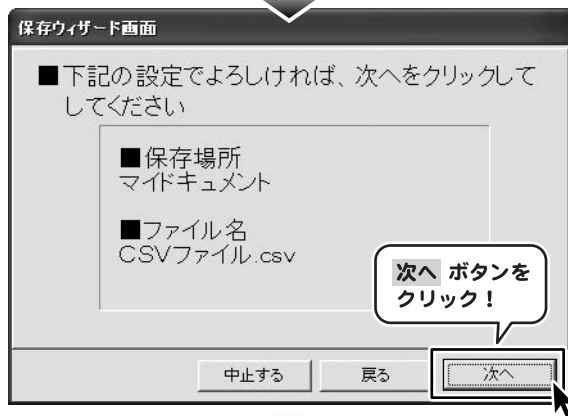
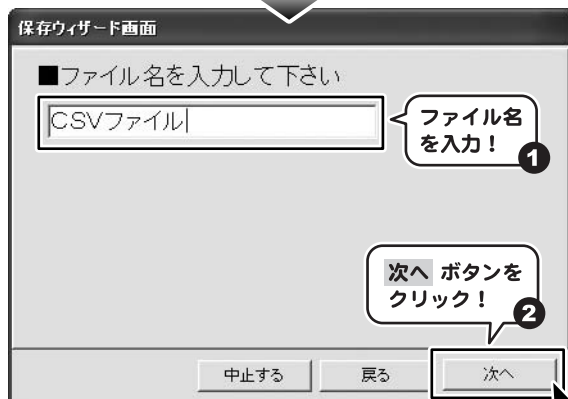
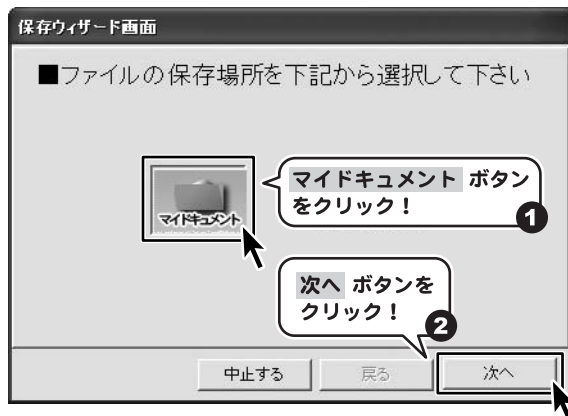
①ファイルの保存場所を設定します。
マイドキュメント、またはデスクトップに保存
することができます。
選択したら **次へ** ボタンをクリックします。
(ここでは、マイドキュメントを選択します。)

※保存ウィザード画面が表示されない場合は
[設定]メニューで[補助画面を利用する]に
チェックを入れてください。

②ファイル名を入力します。
ファイル名を入力したら **次へ** ボタンを
クリックします。

③ファイルの保存場所、ファイル名の確認画面
が表示されます。
間違いがない場合は **次へ** ボタンをクリック
してください。

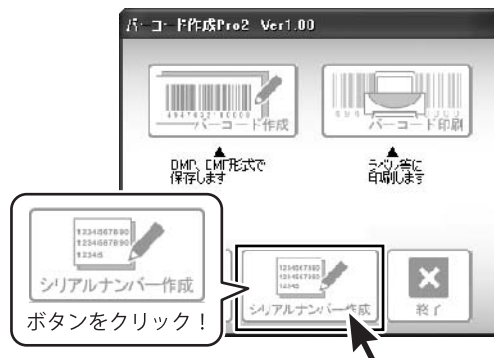
④保存後、右のような画面が表示されます。
保存場所をエクスプローラで開く場合は、
はい ボタンをクリックしてください。



シリアルナンバーの作成方法 (EAN-13 (JAN-13) コード用)

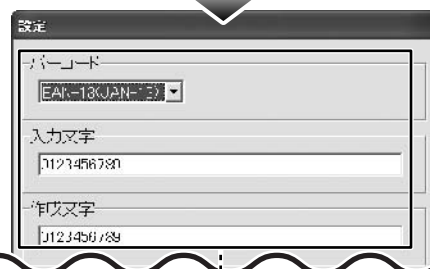
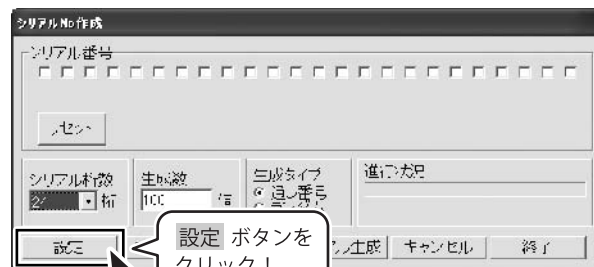
1 シリアルNo作成を起動します

作業選択画面から  ボタンをクリックします。



2 シリアルナンバーの設定を行います

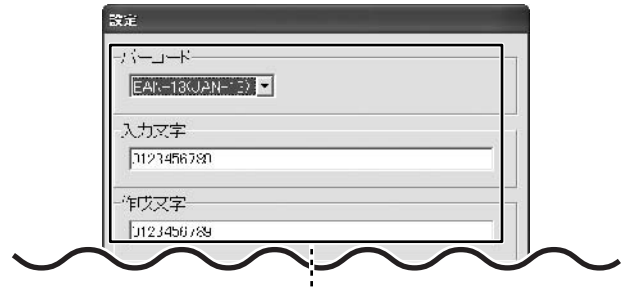
設定 ボタンをクリックして、設定画面を表示します。
シリアルナンバーを作成するバーコードを選択し、
(ここではEAN-13(JAN-13)を選択します)
入力文字、作成文字の設定を行います。
設定が終わりましたら、**OK** ボタンをクリックしてください。



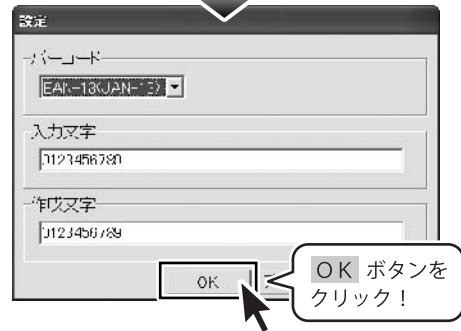
① [バーコード]からシリアルナンバーを作成するバーコードの種類を選択します



[EAN-13(JAN-13)]を選択!



②[入力文字]、[作成文字]の設定を行います

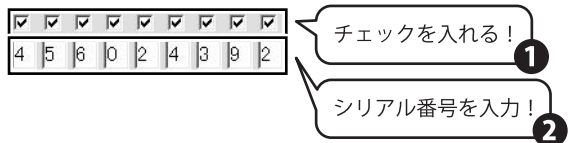


3 シリアルナンバーを作成します

[シリアル番号]、[シリアル桁数]、[生成数]、[生成タイプ]の各項目を設定します。
すべての設定が終わりましたら、**シリアル生成** ボタンをクリックします。



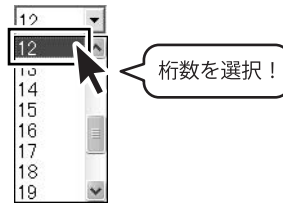
①[シリアル番号]の設定を行います



その他の操作・機能



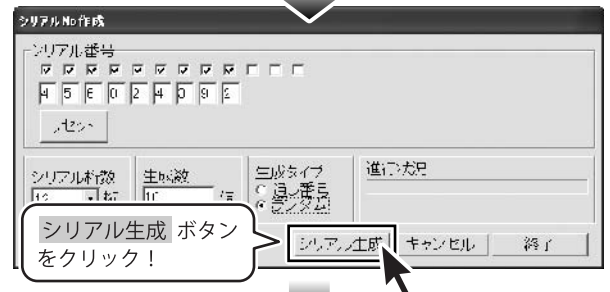
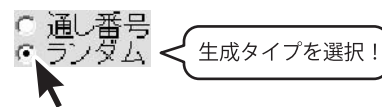
②▼をクリックして[シリアル桁数]を選択します



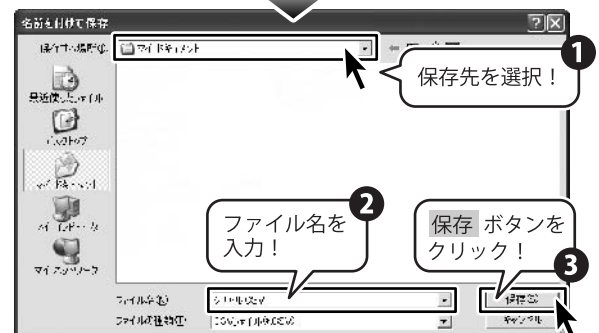
③[生成数]を入力します



④[生成タイプ]を選択します



名前を付けて保存画面が表示されますので、保存する場所を指定し、ファイル名を入力して、**保存** ボタンをクリックしてください。



インストール・起動関連

Q：インストールができない

- A：本ソフトをインストールする際、ウィルス対策などの常駐ソフトや他のソフトが起動していませんか？
必ず、全て終了してからインストール作業を行ってください。
また、HDD(ハードディスクドライブ)の空き容量が極端に少ない状態、Windowsのシステムが不安定になっていると、インストール作業を行うことや本ソフトが正常に起動することができない場合もあります。
お使いのPCのWindowsOSは、WindowsUpdate等で常に最新の状態を保ってください。

Q：ソフトが起動しません 管理者権限の有無を確認してくださいと表示される

- A：Windows VistaやXPや2000をご利用の場合は、管理者権限を持ったユーザーで本ソフトをご使用ください。

操作関連

Q：ラベルを作成している途中に用紙サイズの変更は可能ですか？

- A：用紙設定から再度用紙を選び、「サイズ変更」ボタンで変更することができます。
ただし、変更されるサイズや向きによっては、デザインが崩れてしまう場合があります。

Q：文字シートを作成しているのに、プレビュー&編集エリアに表示されない

- A：他のシート（画像シートや図形シートなど）の下に表示させたいシートが重なっている可能性があります。
本ソフトは、一枚一枚が透明のシートとなっており、そのシートに文字や図形、画像等を書き込み、全てを重ね合わせて1つのデザインが作成される仕組みとなっています。
メイン画面左下の見出しタブから、一番上に表示させたいシートを選択し、メイン画面右側「シート設定」ボタンをクリックしてください。「▲前面へ」ボタンがありますので、該当シートの中身が表示されるまで押しつづけてください。

Q：「これ以上シートを増やす事ができません」とメッセージが表示され、シートを増やすことができません

- A：本ソフトでは1つのデータ(デザイン)に対し使用できるシートは全部で50枚です。
作成されているシート枚数を確認し、不要なシートを削除してください。また、不要なシートを削除する方法につきましては31ページをご参照ください。

また、必要なシートを判別しやすくし、編集作業をより行いやすくする為にも編集の際は、シート名をつけることをお勧めします。

Q：同じ内容のラベルを作るのではなく、1枚ずつ違う内容でラベルを作成したい

- A：本ソフトは1つのデザインで、1枚の用紙全てに同じデザインが印刷される仕様です。
1面ずつ別々のデザインを作成することは出来ません。
但し、差込シートを使用して、1面ずつ文字やバーコードの部分のみを変えることは可能です。※差込シートの使い方は24ページ(画像や図形を1面ずつ変更する事はできません)

Q：会社のロゴを画像で取り込みたい

- A：予め会社ロゴの画像ファイルをご用意ください。形式はBMP、もしくはJPEG形式の画像のみ取り込むことが可能です。

Q：画像シートに読み込んだ画像を編集したい

- A：本ソフトにはロゴを作成、編集する機能はありません。

バーコード関連

Q：バーコードや二次元コードが表示されない

A：入力値の限度を超えているか、バーコードには使用できない文字が含まれている可能性があります。

また、プリンタを動かす為のドライバが入っていない可能性があります。

必ずお使いのプリンタに対応するドライバが入っている(更新されている)状態にしてください。

※本ソフトは、綺麗なバーコードを作成・印刷できるようにする為、プリンタのドライバから情報を読み、バーコードを作成しています。

Q：印刷したバーコードや二次元コードが正常に読み込む事ができない

A：プリンタの機種や用紙の種類（汚れ・柄・色・材質）等によっては、印刷されたバーコードが正常に認識されない場合があります。

また、バーコードの印刷には精度の高いプリンタが必要となるため、プリンタの印刷精度によってはバーコードが正常に認識されないことがあります。

Q：作成したQRコードを携帯電話で読み込めない

A：お使いの携帯電話にQRコード読み取り機能が付いているかご確認ください。

カメラ付きの携帯電話でもQRコード読み取りに対応していない機種があります。

※お使いの携帯電話の機能に関してのご質問は各携帯電話会社にお尋ねください。

また、印刷サイズによっては正しいピント距離でQRコードを収められない場合もあります。

また、作成したQRコードの「QRモデル」をご確認ください。携帯電話で読み取り可能なQRコードは「QRモデル」の設定を「Model 2」にして、作成したQRコード及び、携帯電話向けに作成したQRコードのみです。「Model 2」のQRコード作成方法は11、22ページをご参照ください。

CSV関連

Q：CSVファイルとは？

A：文字データをカンマ区切りしたファイルです。表計算ソフト等でも閲覧・編集などが出来ます。

Q：CSVファイルの差込がうまくできない

A：差し込むCSVファイルを他のソフト等で開いていると、差し込みが正常に行えない場合があります。必ず差し込むCSVファイルが他のソフト等で開いていない状態であることを確認してから、差し込み作業を行ってください。

Q：CSVメーカー(CSV作成ソフト)の設定画面とは

A：CSVメーカーでファイルを作成して保存を行う際、簡単に保存作業を行う事ができるよう保存方法の補助機能を設定する画面になります。

この“補助画面を利用する”にチェックをつけることで、66ページのような保存画面により簡単に保存作業を行うことができます。

Q：「差し込むCSVファイルを指定してください」という画面が表示され、印刷に進めない

A：以下の項目をご確認ください。

- ・知らない間に空の差込シートが作成されている
- ・差込シートを作成しているが、CSVファイルを指定していない

使用していない差込シートは削除してください。

不要な差込シートを削除する方法につきましては、31ページをご参照ください。

印刷・用紙設定関連

Q：用紙の設定を行おうとしたら、手元にある用紙型番とソフトのリスト中の用紙型番が一致しません。

A：オリジナル用紙の設定につきましては33ページをご参照ください。

Q：印刷ができません プレビューもできません

A：以下の項目をご確認願います。

- プリンタドライバ（プリンタを動かす為のソフト）が最新のものではない
- インクやトナー等が切れている、又はインクやトナー等の噴出し口などが目詰まりしている
- モノクロ設定になっている
- プリンタの設定が変更されている（用紙や拡大縮小など）
- プリンタの正しい位置に、用紙をセットしていない
- プリンタの電源が入っていない、ケーブルの接続が不十分になっている
- パソコン自体がプリンタを認識していない

プリンタそのものに関するお問い合わせは、プリンタのメーカー様へお尋ね下さい。

一部のプリンタでは印刷する際の倍率などを設定することができるものもあり、その設定によっては、データを正常に印刷できない場合があります。

例：プリンタ側の倍率が88%に設定されている→印刷データ自体も88%のサイズに縮小されて印刷が行なわれます。

パソコンとプリンタ等周辺機器の組み合わせや環境、設定、また一部のプリンタ（※）では、正常に印刷を行う事ができない場合があります。

※複合機や業務用プリンタ等

印刷の際はプレビュー画面などで確認を行い、最初はテスト用紙などをご用意の上、試し印刷を行ってから各種用紙に印刷することをお勧め致します。

その他

Q：画像を読み込もうとしたけどうまくいかない

A：スキャナ等のTWAIN機器から直接読み込む場合にはTWAIN32Bitに対応している各機器のドライバ、ユーティリティソフト等が最新のものであるかご確認ください。

Q：画面の端が切れて表示される

A：画面解像度を推奨サイズ以上に変更します。

確認方法

[Windows Vista]

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→個人設定をクリックします。
2. 個人設定ウィンドウ内の、画面の設定を左クリックします。
3. 解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。※機種によっては推奨解像度が表示できない物もあります。

Q：データを保存する際に気をつけることは？

A：・どこに保存を行うのか

- ・データの内容がわかるようなファイル名をつける
- ・ファイル名に特殊記号を使用しない（保存が正常に行われない場合があります）

などをご確認してから保存を行ってください。

ユーザーサポート

問い合わせについて

お客様より頂いたお問い合わせに返信できないという事がございます。

問い合わせを行っているのにも関わらず、サポートからの返事がない場合、弊社ユーザーサポートまでご連絡が届いていない状態や、返信先が不明(正しくない)場合が考えられます。

FAX及びe-mailでのお問い合わせの際には、『ご連絡先を正確に明記』の上、サポートまでお送りくださいますようお願い申し上げます。

弊社ホームページ上から問い合わせの場合、弊社ホームページ上からサポート宛にメールを送ることが可能です。

弊社ホームページ

<http://www.de-net.com>

問い合わせページ

<http://www.de-net.com/pc3/user-support/index.htm>

『ご購入後のお問い合わせ』をお選びください。

直接メール・FAX・お電話等でご連絡の場合

○ソフトのタイトル・バージョン

例:「バーコード作成Pro2」

○ソフトのシリアルナンバー

例:DEXXX-XXXX-XXXXXX

○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例: WindowsXP SP2、WindowsUpdateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例: InternetExplorer 6

・パソコンの仕様

例: NEC XXXX-XXX-XX / Pentium III 1GHz / HDD 60GB / Memory 64MByte

○お問合せ内容

例: ~の操作を行ったら、~というメッセージがでてソフトが動かなくなった

□□□部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先(正確にお願い致します)

メールアドレス等送る前に再確認をお願いいたします。

無料ユーザーサポート

E-mail: ask99pc@de-net.com

Tel: 048-640-1002 Fax: 048-640-1011

サポート時間 : 10:00~17:30 (土・日、祭日を除く)

※通料はお客様負担となります。

※パソコン本体の操作方法やその他専門知識に関するお問い合わせにはお答えできない場合があります。

※お客様のご都合による返品はできません。

※お問い合わせ内容によっては返答までにお時間をいただくこともあります。

